

第52回 豊川市地域公共交通会議 資料

<目 次>

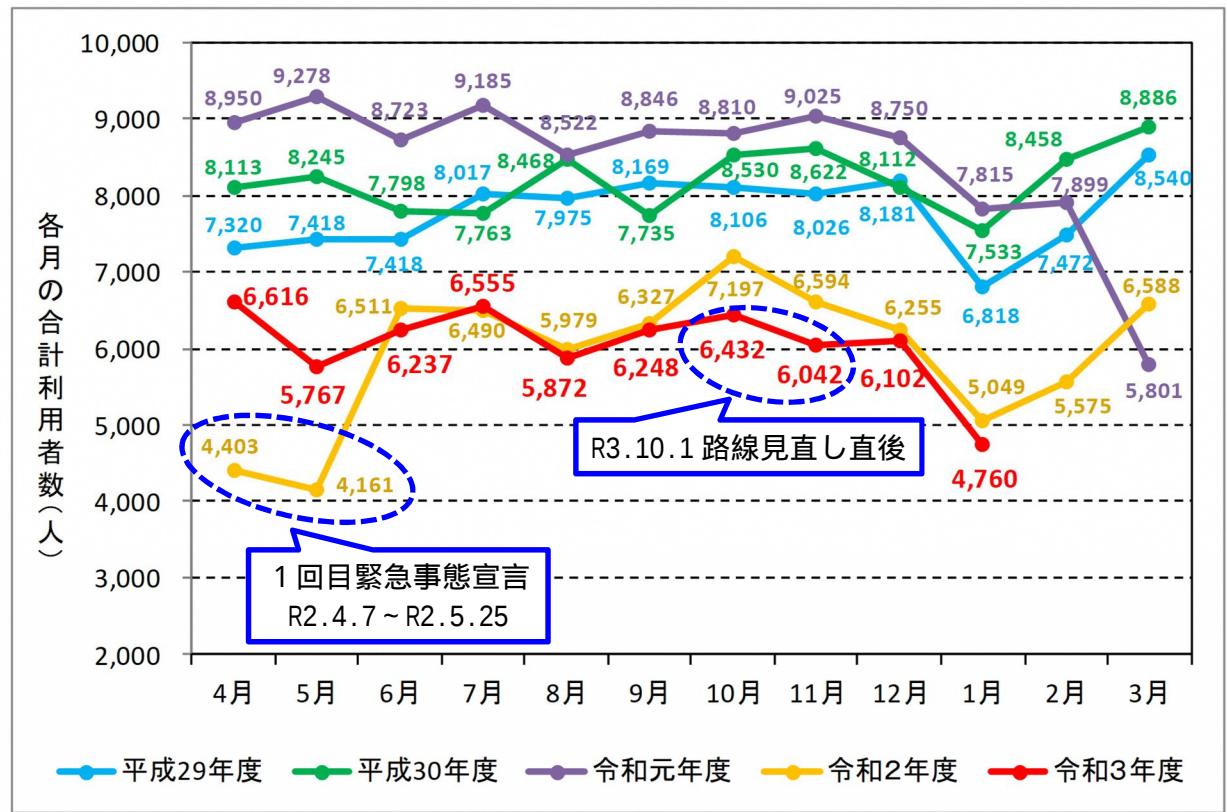
1. 【報告事項（１）】豊川市コミュニティバスの運行実績等
2. 【報告事項（２）】OD調査結果
3. 【協議事項（１）】令和４年度実施の事業と予算（案）
4. 【協議事項（２）】豊川市コミュニティバスの運行計画の変更

令和４年３月２５日

1. 【報告事項（1）】豊川市コミュニティバスの運行実績等

1-1. 豊川市コミュニティバス利用者数の推移

令和3年度の利用者数は、1回目の緊急事態宣言期間中であつた月と路線見直し直後の2か月間を除き、前年同月並みで推移しました。



豊川市コミュニティバスの利用者数

- 路線の主な見直し
- 平成24年10月 1日：一宮地区地域路線の路線変更
（2路線＜東回り、西回り＞に1路線＜中回り＞追加）
 - 平成24年10月 1日：御油地区地域路線の運行開始
（1日6便による運行で、御油地区と国府駅を結ぶ路線で運行開始）
 - 平成25年 5月 1日：豊川市民病院の移転に伴う路線再編
（豊川国府線、ゆうあいの里小坂井線、音羽線、御津線の市民病院の経由）
 - 平成26年 5月 1日：御油地区地域路線の運行本数の変更
（1日6便から8便へ増便）
 - 平成27年 5月 1日：御津地区地域路線の路線変更
（路線を5路線から7路線へ分割し、放射状の路線形態へ変更）
 - 平成28年10月 1日：ダイヤ及び運行本数の変更、運賃体系の変更
（豊川国府線、音羽線、御津線は豊川市民病院以東を減便し、豊川市民病院以西を増便、ゆうあいの里小坂井線は最終便を減便）
 - 令和 3年10月 1日：運行路線及びダイヤの変更、運賃体系の変更
（豊川国府線をゆうあいの里八幡線、ゆうあいの里小坂井線を小坂井線と路線名を変更）

1-2. 路線別の月別利用者数の推移

令和3年10月の路線見直し後の主な利用者数の変化は以下のとおりです。

- ・旧ゆうあいの里小坂井線の姫街道以北の利用者はゆうあいの里八幡線を利用。（ゆうあいの里八幡線は前年同月比プラス、小坂井線は前年同月比マイナス。）
- ・音羽線及び御津線の利用者数が大幅に減少。（2ページ参照）

令和元年度路線別の利用者数推移														H30との比較	
路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和元年度合計	増減数	増減率
豊川国府線	940	932	1,010	1,047	887	951	940	882	838	847	763	493	10,530	-550	-5.0%
千両三上線	1,107	1,151	1,149	1,181	1,124	1,103	1,154	1,179	1,204	987	979	803	13,121	+730	+5.9%
ゆうあいの里小坂井線	1,143	1,207	1,082	1,041	970	986	900	952	911	886	944	571	11,593	-468	-3.9%
一宮線	1,273	1,388	1,197	1,317	1,379	1,381	1,412	1,488	1,325	1,184	1,122	869	15,335	+1,112	+7.8%
音羽線	1,002	1,101	1,070	1,049	1,011	1,056	1,074	1,108	1,212	911	1,037	885	12,516	+580	+4.9%
御津線	786	740	749	805	698	752	735	787	835	701	727	593	8,908	+99	+1.1%
つつじバス （音羽地区地域路線）	1,006	892	830	942	884	892	839	836	875	795	814	699	10,304	+582	+6.0%
ハートフル号 （御津地区地域路線）	319	373	377	362	225	362	404	388	343	337	341	140	3,971	+615	+18.3%
本宮線のんほい号 （一宮地区地域路線）	715	747	579	696	640	589	623	654	490	610	570	208	7,121	+287	+4.2%
こゆりんバス （御油地区地域路線）	659	747	680	745	704	774	729	751	717	557	602	540	8,205	+354	+4.5%
合 計	8,950	9,278	8,723	9,185	8,522	8,846	8,810	9,025	8,750	7,815	7,899	5,801	101,604	+3,341	+3.4%

令和2年度路線別の利用者数推移														R元との比較	
路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和2年度合計	増減数	増減率
豊川国府線	288	270	602	583	461	573	538	534	530	469	513	592	5,953	-4,577	-43.5%
千両三上線	634	593	777	869	679	794	993	854	865	668	736	826	9,288	-3,833	-29.2%
ゆうあいの里小坂井線	406	434	742	687	609	644	625	666	675	578	607	758	7,431	-4,162	-35.9%
一宮線	503	513	911	904	968	929	1,238	1,226	1,044	868	915	1,040	11,059	-4,276	-27.9%
音羽線	759	721	941	851	910	918	955	886	931	650	735	888	10,145	-2,371	-18.9%
御津線	430	396	620	613	529	483	602	501	440	371	394	518	5,897	-3,011	-33.8%
つつじバス （音羽地区地域路線）	676	580	821	763	795	788	865	713	752	596	709	809	8,867	-1,437	-13.9%
ハートフル号 （御津地区地域路線）	127	135	311	277	199	271	311	262	232	202	247	264	2,838	-1,133	-28.5%
本宮線のんほい号 （一宮地区地域路線）	123	90	261	301	209	308	472	374	286	264	315	355	3,358	-3,763	-52.8%
こゆりんバス （御油地区地域路線）	457	429	525	642	620	619	598	578	500	383	404	538	6,293	-1,912	-23.3%
合 計	4,403	4,161	6,511	6,490	5,979	6,327	7,197	6,594	6,255	5,049	5,575	6,588	71,129	-30,475	-30.0%

令和3年度路線別の利用者数推移														(※) R2との比較	
路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和3年度合計	増減数	増減率
ゆうあいの里八幡線 （豊川国府線）	654	582	620	590	541	618	761	825	724	558			6,473	+1,625	+33.5%
千両三上線	763	721	790	781	755	758	913	785	952	682			7,900	+174	+2.3%
小坂井線 （ゆうあいの里小坂井線）	706	572	667	746	684	696	530	534	514	404			6,053	-13	-0.2%
一宮線	1,080	916	893	1,145	1,031	1,035	1,124	1,070	1,104	957			10,355	+1,251	+13.7%
音羽線	858	820	863	822	815	781	759	686	686	489			7,579	-943	-11.1%
御津線	567	390	472	500	466	474	308	343	377	311			4,208	-777	-15.6%
つつじバス （音羽地区地域路線）	837	760	813	830	725	751	857	733	745	590			7,641	+292	+4.0%
ハートフル号 （御津地区地域路線）	247	237	269	228	84	235	209	213	177	144			2,043	-284	-12.2%
本宮線のんほい号 （一宮地区地域路線）	381	311	286	344	244	331	380	340	309	272			3,198	+510	+19.0%
こゆりんバス （御油地区地域路線）	523	458	564	569	527	569	591	513	514	353			5,181	-170	-3.2%
合 計	6,616	5,767	6,237	6,555	5,872	6,248	6,432	6,042	6,102	4,760	0	0	60,631	+1,665	+2.8%

（ ）R2との比較は、令和2年度4～1月の合計と令和3年度4～1月の合計との比較

(参考) 音羽線及び御津線のバス停別利用者数の変化

() 黄色網掛けバス停：40人以上減少かつ20%以上減少

(音羽線)

バス停名	令和3年度 10-1月 乗車人数 (人)	令和2年度 10-1月 乗車人数 (人)	増減 人数 (人)	増減率
			-	(-)/
グリーンヒル音羽	218	258	40	-16%
名電長沢駅	67	87	20	-23%
大榎橋	0	3	3	-100%
山口	12	43	31	-72%
誓林寺前	31	58	27	-47%
長沢小学校	71	134	63	-47%
八王子橋	103	96	7	+7%
堀内クリニック	134	155	21	-14%
音羽中学校	41	33	8	+24%
よらまい館	6	34	28	-82%
ひまわり農協音羽	88	107	19	-18%
音羽支所	371	390	19	-5%
音羽郵便局	149	194	45	-23%
関川	19	22	3	-14%
松並木東	119	178	59	-33%
御油橋西	50	68	18	-26%
八面前	7	16	9	-56%
ヤマナカ御油店	599	651	52	-8%
国府駅	258	363	105	-29%
上宿東	17	9	8	+89%
佃	43	33	10	+30%
筋違橋	4	3	1	+33%
横道	19	31	12	-39%
八幡町	3	9	6	-67%
豊川市民病院	111	246	135	-55%
名鉄八幡駅	80	18	62	+344%
野口町	-	82	82	-
諏訪西町	-	17	17	-
文化会館	-	12	12	-
新道町	-	11	11	-
下野川	-	18	18	-
保健センター	-	0	0	-
豊川体育館前	-	25	25	-
市役所	-	18	18	-
合計	2,620	3,422	802	-23%

(御津線)

バス停名	令和3年度 10-1月 乗車人数 (人)	令和2年度 10-1月 乗車人数 (人)	増減 人数 (人)	増減率
			-	(-)/
あかね児童館	181	190	9	-5%
坪野十王橋	4	2	2	+100%
坪野口	17	71	54	-76%
中部微生物研究所前	1	-	1	-
大草出荷場前	4	-	4	-
石国産業前	0	-	0	-
御津交番前	0	-	0	-
愛知御津駅前	198	260	62	-24%
御津支所	126	124	2	+2%
為当稲荷神社前	12	16	4	-25%
後田	33	33	0	0%
三津市場	11	24	13	-54%
ココカラファイン為当店前	67	97	30	-31%
クックマート国府店前	42	32	10	+31%
上佐脇集落センター前	0	-	0	-
国府駅	342	507	165	-33%
上宿東	12	62	50	-81%
佃	48	57	9	-16%
筋違橋	9	4	5	+125%
横道	9	21	12	-57%
八幡町	4	16	12	-75%
豊川市民病院	208	241	33	-14%
名鉄八幡駅	11	11	0	0%
野口町	-	8	8	-
諏訪西町	-	8	8	-
文化会館	-	5	5	-
新道町	-	70	70	-
下野川	-	18	18	-
保健センター	-	3	3	-
豊川体育館前	-	20	20	-
市役所	-	14	14	-
合計	1,339	1,914	575	-30%

令和３年１０月にダイヤ改正した音羽線第１便については、県道長沢国府線における通学時間帯の車両通行規制の対象からバスを除外することに時間を要したため、「堀内クリニック」バス停から「グリーンヒル音羽」バス停までの区間の運行を休止していましたが、規制の対象からバスを除外できたため、令和４年３月２３日より通常運行しています。



バス停名		1便	3便	5便	7便	9便	11便	13便
グリーンヒル音羽 方面	豊川市民病院			10:14			16:00	
	名鉄八幡駅			10:17			16:03	
	八幡町			10:20			16:06	
	横道			10:21			16:07	
	筋違橋			10:23			16:09	
	佃			10:24			16:10	
	上宿東			10:25			16:11	
	国府駅(着)			10:30			16:16	
	国府駅(発)	7:28	8:53	10:34	13:04	14:17	16:19	17:28
	ヤマナカ御油店	7:32	8:57	10:38	13:08	14:21	16:23	17:32
	八面前	7:33	8:58	10:39	13:09	14:22	16:24	17:33
	御油橋西	7:34	8:59	10:40	13:10	14:23	16:25	17:34
	松並木東	7:36	9:01	10:42	13:12	14:25	16:27	17:36
	関川	7:37	9:02	10:43	13:13	14:26	16:28	17:37
	音羽郵便局	7:38	9:03	10:44	13:14	14:27	16:29	17:38
	ひまわり農協音羽	7:39	9:04	10:45	13:15	14:28	16:30	17:39
	音羽支所(着)	7:40	9:05	10:46	13:16	14:29	16:31	17:40
	音羽支所(発)	7:45		10:55	13:17	14:30	16:32	17:41
	ひまわり農協音羽	7:46		10:56	13:18	14:31	16:33	17:42
	よらまい館	7:48						
音羽中学校	7:50							
堀内クリニック	7:51							
八王子橋	7:52		11:02	13:24	14:37	16:39	17:48	
長沢小学校	7:53		11:03	13:25	14:38	16:40	17:49	
誓林寺前	7:54		11:04	13:26	14:39	16:41	17:50	
名電長沢駅	7:57		11:07	13:29	14:42	16:44	17:53	
グリーンヒル音羽	8:01		11:11	13:33	14:46	16:48	17:57	



-3-

1-4. 夏休み小学生50円バス・整理券ラリー＆歴史謎解きゲーム

東三河地域公共交通活性化協議会において、以下のとおり公共交通利用促進イベントを実施しました。

【夏休み小学生50円バス】

- 夏休み期間中（令和3年7月21日（水）～8月31日（火））に小学生の運賃を一律50円とするキャンペーン。

【整理券ラリー＆歴史謎解きゲーム】

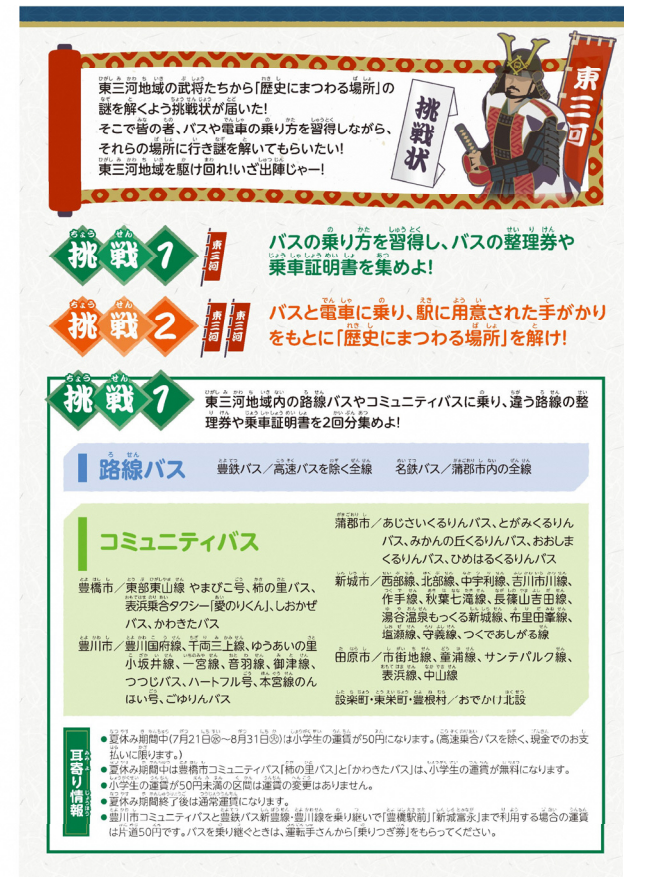
- 東三河地域のバスに乗車して整理券を集めるバス整理券ラリーと、鉄道やバスを利用し、駅に用意された手がかりから歴史にまつわる場所を解く謎解きゲーム。

夏休み小学生50円バス利用実績

年度 路線名		過年度の実績							令和3年度実績 実施期間：7/21～8/31			R3/R1 年度比較
		平成25 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	令和元 年度	7月	8月	合計	
基幹路線	豊川国府線 （現・ゆうあい里八幡線）	63	100	57	112	50	59	32	10	25	35	109.4%
	千両三上線	24	40	24	35	26	42	14	0	19	19	135.7%
	ゆうあいの里小坂井線 （現・小坂井線）	15	65	94	44	64	43	21	9	6	15	71.4%
	一宮線	68	46	55	33	37	47	109	11	8	19	17.4%
	音羽線	161	91	91	94	29	15	39	1	8	9	23.1%
	御津線	57	41	47	72	31	34	12	2	4	6	50.0%
	基幹路線合計	388	383	368	390	237	240	227	33	70	103	45.4%
地域路線	音羽地区地域路線	23	39	63	50	14	15	6	1	1	2	33.3%
	御津地区地域路線	24	20	16	36	13	18	11	0	3	3	27.3%
	一宮地区地域路線	0	7	8	1	3	2	0	0	0	0	0.0%
	御油地区地域路線	9	9	11	8	11	11	11	0	2	2	18.2%
	地域路線合計	56	75	98	95	41	46	28	1	6	7	25.0%
総合計		444	458	466	485	278	286	255	34	76	110	43.1%

（参考）緊急事態宣言期間：令和3年8月27日から令和3年9月30日

当利用促進イベントに参加した東三河地域全体の利用者数は、4,213人（一日平均約100人）であり、新型コロナウイルス感染症拡大により令和元年度の10,226人と比べると約6割減少しています。



夏休み小学生50円バス・東三河バス整理券ラリー＆歴史謎解きゲームチラシ

1-5. 各種検討状況

①豊川市地域公共交通計画記載事項の検討状況

- 1 定期券等（高齢者向け割引パスポート）の検討状況
 - ・運行事業者ヒアリング済 導入可能
 - ・近隣市の事例調査中（販売価格、販売実績等） 近隣市の事例をまとめて第53回会議にて報告予定
- 2 電子決済の検討状況
 - ・運行事業者ヒアリング済 ICカード以外は運転手負担軽減策の検討が必要
 - ・事例調査中（電子決済の種類、導入費用、運用費用等）
 - ICカードの導入費用は数千万円～（別途運用費用）
 - QRコードの導入費用は無料～（別途運用費用で決済額の1.5%程度）
 - クレジットカード等（調査中）
- 3 デマンドタクシーの検討状況
 - ・運行事業者ヒアリング済 乗合デマンドタクシーは乗用タクシーとの競合回避が課題（令和元年度の実証実験程度でなければ導入不可）
 - ・乗用タクシーの活用方法を調査中（5ページ右側、6ページ参照）
 - 一括定額運賃（タクシー定期券）補助（タクシー事業者における定期券の設定額が課題）
 - タクシー相乗りサービス補助（配車アプリ開発待ち）

②豊川市地域公共交通会議における意見に対する検討状況

- 1 フリー乗降の検討状況
 - ・運行事業者等ヒアリング済 フリー乗降は安全面と乗客の見落としが課題（新規導入は困難）
 - ・フリー乗降の代替策としてバス停増設を検討中（第51回会議）
 - 増設可能バス停をリスト化して第53回会議にて報告予定

（参考）乗用タクシーの活用方法 タクシー定期券購入者に対する定期券代の補助を想定

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



令和2年11月27日

自動車局旅客課

タクシーの新たな運賃・料金サービスを導入します！

～一括定額運賃・変動迎車料金の導入～

11月30日に、タクシー利用者の更なる利便性の向上を図るため、MaaSにも資する新たな運賃・料金サービスである『一括定額運賃』及び『変動迎車料金』の申請受付を開始します。

(1)一括定額運賃(定期券/回数券)

【概要】

- タクシーの複数回の利用分の運賃を一括して支払う制度

【効果】

- 通勤など継続利用に便利
- 一括清算により割安になることが期待
- 他の交通モードと連携した観光用フリーパス等も推進

(2)変動迎車料金

【概要】

- 需要の増減に応じ、迎車料金を変動させる制度
- トータルでは、固定迎車料金と変わらないよう変動させること等が条件

【効果】

- 閑散期には、割安に迎車することが可能となり、繁忙期には、割高になるが、迎車の必要度が高い人に配車されやすくなる

(3)その他

- これらの制度については定期的なモニタリングを実施、必要に応じて見直しを行います。
- 関連する通達は「一般乗用旅客自動車運送事業の運賃及び料金に関する制度について」のとおりです。（HP）http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk3_000037.html ※11/30 掲載
- 上記の新たな運賃・料金サービスとともに検討を進めていた、配車アプリを通じ、目的地の近い旅客がマッチングし、相乗りする制度（相乗りタクシー）については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら導入時期を検討します。

【問い合わせ先】

自動車局旅客課 村瀬、土肥
（代表）03-5253-8111（内線 41242、41243）
（直通）03-5253-8569（FAX）03-5253-1636

令和3年10月29日
自動車局旅客課

新たにタクシーの「相乗りサービス」制度を導入します！ ～タクシーを割安に利用することが期待されます～

配車アプリ等を通じて、目的地の近い旅客同士を運送開始前にマッチングし、タクシーに相乗りさせて運送するサービスを認める新たな制度を導入します(本日付で通達を公布し、本年11月1日から運用可能)。

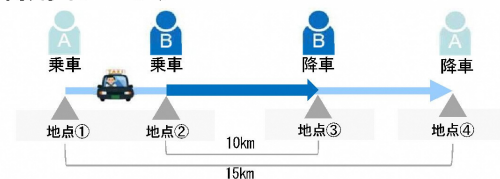
1. 概要

- タクシーの「相乗りサービス」とは、配車アプリ等を通じて、目的地の近い旅客同士を運送開始前にマッチングし、タクシーに相乗りさせて運送するサービスです(運送開始後に不特定の旅客が乗車できるバスとは異なるタクシー独自の運送形態となります)。
- 今般、利用者が安心してタクシーに相乗りし、割安にドア to ドアで移動できるよう、「相乗りサービス」について、運賃の按分等に関する一定のルールを定めた新たな制度を導入しました。
- タクシー事業者にとっても、「相乗りサービス」を提供することで、利用者の利便性の向上を図り、新たなタクシー需要を喚起することが期待されます。

2. 利用イメージ

- 制度上、相乗りする際の運賃は、原則として乗車距離に応じて按分することをルールとしており、例えば以下のような事例となることが想定されます。

(利用イメージ)



【地点①～④のタクシー運賃が5,000円の場合】

Aの運賃：3,000円(5,000円×15km/25km)

Bの運賃：2,000円(5,000円×10km/25km)

3. その他

- 当面の間、マスク着用、旅客同士が隣り合わない座席指定など、必要な感染対策を実施して相乗りサービスを提供するようタクシー事業者に求めます。また、実施状況を定期的にモニタリングし、バスとの整合性に留意しつつ、必要に応じて見直しを行います。
- 関連する通達は「一般乗用旅客自動車運送事業における相乗り旅客の運送の取扱いについて」のとおりです。(HP) http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk3_000037.html

【問い合わせ先】

自動車局旅客課 村瀬、土肥、飯田

(代表)03-5253-8111(内線 41242、41243)

(直通)03-5253-8569(FAX)03-5253-1636

1－6．地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果

豊川市のコミュニティバスの一部の路線は国の補助金を活用して運行していますが、補助金の活用にあたり、地域公共交通会議で事業の実施状況等を確認し、「自己評価」を行って国に報告することになっています。

第5 1回会議における協議内容を踏まえて自己評価シートを修正し、令和3年1月に中部運輸局等に報告しました。（会議資料8～9ページ）

その後、令和4年2月17日（木）に二次評価を実施する第三者評価委員会が開催され、中部運輸局から以下のとおり結果の通知がありました。

（別紙）中部運輸局二次評価結果 令和4年3月10日付け中運交企第174号通知

自治体・協議会名	豊川市地域公共交通会議
評価対象事業	地域内フィーダー系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・地域住民の意見に耳を傾け、需要に見合った路線再編(R3.10.1)が行われたことを評価します。
- ・時刻表の継続配布やバスロケーションシステムの導入により、利用者の利便性向上及び利用促進が図られたことを評価します。
- ・東三河地域の関係者が連携した利用促進が継続して実施されたことが確認できました。

期待する取組

- ・令和3年10月路線再編について、利用状況等を把握分析することで、利用促進を図られるよう期待します。また、当該路線再編により、市中心部への移動で豊鉄バスへの乗継ぎが必要となったため、「豊川市1日フリー乗車券」等の普及に取組まれることを期待します。
- ・令和5年春季の大規模商業施設開業において、地域住民・企業・交通事業者等の意見を集約し、地域活性化に資するよう取組まれることを期待します。また、開業直後の渋滞緩和についても他事例を参考に検討をお願いします。
- ・地域間幹線系統のうち、特に豊川線については輸送量が補助要件を下回った結果となっているため、大規模商業施設開業に伴う新豊線と一体となった再編検討を進め、沿線市と連携して利用者回復に努められるよう期待します。

【参考資料】中部運輸局等への報告資料

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和3年12月27日

協議会名：豊川市地域公共交通会議

評価対象事業名：評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点 （特記事項を含む）
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名・運行（航） 区間、整備内容等を記載（陸上交通に 係る確保維持事業において、車両減価 償却費等及び公有民営方式車両購入 費に係る国庫補助金の交付を受けて いる場合、離島航路に係る確保維持事 業において離島航路構造改革補助（調 査検討の経費を除く。）を受けている場 合は、その旨記載）】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評 価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反 映させた上で事業を実施したかを記載】	A ・ B ・ C 評価 【計画に基づく事業が適切に実施さ れたかを記載。計画どおり実施さ れなかった場合には、理由等記 載】	A ・ B ・ C 評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由 等を分析の上記載】		【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改 善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組み について広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維 持改善計画にどのように反映させるか（方向性又は具 体的な内容）を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
豊川市コミュニティバス	基幹路線：6路線 地域路線：4路線		A 計画どおり実施している。	年間利用者目標：87,000人／年(R2.10～R3.9) 年間利用者実績：74,522人／年(R2.10～R3.9) 達成状況：86％ ・市内の交通結節点と主要施設を結び、行政や交通事業者が主体となって確保する基幹路線と、小中学校区程度の地域内を運行し、地域が主体となって確保する地域路線により構成されている。 ・年間利用者の目標及び実績の期間は令和2年10月から令和3年9月となっており、評価期間と一致している。また、収支率目標の期間も分子の運賃収入を年間利用者数の目標人数に1人あたりの運賃単価を乗じて算出しているため評価期間と一致しているが、収支率実績の期間は運行事業者と4～3月の期間で経費精算を行っているため、評価期間とは異なる令和2年4月から令和3年3月となっている。新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年4月と5月は特に利用者が大幅に減少したが、買い物利用の多い音羽線などはあまり利用者が減少しなかった一方で、お風呂利用の多い一宮地区地域路線などでは特に利用者が大幅に減少した。そのため、利用者目標の達成状況に対して、買い物利用が多い路線などでは収支率達成状況が良くなる傾向がある一方で、お風呂利用が多い路線では収支率達成状況が悪くなる傾向がある。	収支率目標：9.4%(R2.10～R3.9) 収支率実績：8.1%(R2.4～R3.3) 達成状況：86%	令和3年12月に実施したOD調査結果及び利用者からの意見等を参考にして、令和3年10月の路線見直し後の評価を進めるとともに、令和5年春のイオンモール豊川の出店に合わせて運行ルートやダイヤの変更等を検討する。また、新たな料金支払方式として電子決済や定期券等の導入を検討し、利便性の向上に努める。
豊川国府線 （豊鉄バス）	国府駅～豊川駅前		A 計画どおり実施している。	年間利用者目標：9,500人／年(R2.10～R3.9) 年間利用者実績：6,770人／年(R2.10～R3.9) 達成状況：71％ B ・主に豊川特別支援学校への通学や豊川市民病院等への通院に利用されている路線である。 ・令和3年3月には、豊鉄バスと沿線市町で連携し、豊川国府線を含む豊鉄バス全線にバスロケーションシステムを導入して利便性の向上を図ったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年間の利用者実績は昨年度よりも770人減少し、収支率は2.9%減少した。	収支率目標：5.7%(R2.10～R3.9) 収支率実績：5.2%(R2.4～R3.3) 達成状況：91%	令和3年10月からは運行ルートが大幅に見直され利用傾向も変化すると考えられるため、令和3年12月に実施したOD調査結果を分析し、利用実態の把握に努める。また、運行ルートの中心にある八幡町内会とも連携し、利用促進に努める。
千両三上線 （豊鉄タクシー）	上千両集会所～三上地区市民館	（前回の事業評価結果における期待する取組） ①令和3年4月に策定予定の地域公共交通計画に基づく事業及び評価の実施 ②幹線系統とコミュニティバスの並走の解消等、令和3年10月に予定されている路線の見直しを行い、路線毎及び地域単位における利用者数及び収支率の実績による評価・改善の実施 ③東三河地域が一体となった公共交通の利用促進の継続	A 計画どおり実施している。	年間利用者目標：11,500人／年(R2.10～R3.9) 年間利用者実績：9,510人／年(R2.10～R3.9) 達成状況：83％ B ・主に鉄道へ乗り継いでの通院や買い物に利用されている路線である。 ・令和3年7月から令和3年9月にかけて東三河地域公共交通活性化協議会でバス整理券ラリース＆歴史謎解きゲームを実施するなどの利用促進を図ったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年間の利用者実績は昨年度よりも1,142人減少し、収支率は5.3%減少した。	収支率目標：14.0%(R2.10～R3.9) 収支率実績：12.0%(R2.4～R3.3) 達成状況：86%	令和3年10月からの運行ルートでは、市中心部への移動は豊鉄バスへの乗継ぎが必要となるため、「豊川市1日フリー乗車券」等の周知を強化する。また、コミュニティバス同士の乗継ぎが従前より必要となるため、乗継ぎダイヤの周知を強化する。
ゆうあいの里小坂井線 （豊鉄タクシー）	ゆうあいの里～西小坂井駅	（事業の実施状況） ①・②令和3年3月に策定した豊川市地域公共交通計画に基づき、令和3年10月に幹線系統とコミュニティバスの並走を解消するなどの路線見直しを行った。また、豊川市地域公共交通計画においてコミュニティバスの年度別路線別の利用者目標等を設定し、右記のとおり評価を実施。更に令和3年12月には幹線系統とコミュニティバスに対するOD調査を実施し、路線見直し後の評価を行う予定。 ③令和3年7月～9月、東三河地域公共交通活性化協議会（東三河8市町村で構成される公共交通の利用促進策等を検討する協議会）が主体となり、「夏休み小学生50円バス」及び「東三河バス整理券ラリー＆歴史謎解きゲーム」を実施。	A 計画どおり実施している。	年間利用者目標：10,000人／年(R2.10～R3.9) 年間利用者実績：7,978人／年(R2.10～R3.9) 達成状況：80％ B ・主に豊川市民病院への通院、ゆうあいの里のお風呂、ドミーやクックマートへの買い物に利用されている路線である。 ・令和3年7月から令和3年9月にかけて東三河地域公共交通活性化協議会でバス整理券ラリー＆歴史謎解きゲームを実施するなどの利用促進を図ったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年間の利用者実績は昨年度よりも708人減少し、収支率は4.8%減少した。	収支率目標：12.0%(R2.10～R3.9) 収支率実績：10.2%(R2.4～R3.3) 達成状況：85%	令和3年10月からの運行ルートでは、ゆうあいの里のお風呂への移動はゆうあいの里八幡線への乗継ぎが必要となるため、乗継ぎダイヤの周知を強化する。
音羽線 （豊鉄タクシー）	グリーンヒル音羽～市役所		A 計画どおり実施している。	年間利用者目標：10,500人／年(R2.10～R3.9) 年間利用者実績：10,004人／年(R2.10～R3.9) 達成状況：95％ ・主にヤマナカ御油店への買い物や堀内クリニックへの通院に利用されている路線である。 ・令和3年7月から令和3年9月にかけて東三河地域公共交通活性化協議会で実施したバス整理券ラリー＆歴史謎解きゲームで、目的地を音羽線沿線の天平の里資料館に設定するなどの利用促進を図ったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年間の利用者実績は昨年度よりも1,323人減少し、収支率は2.0%減少した。 ・年間利用者目標が未達であるものの収支率目標を達成している理由は、運行事業者と4～3月の期間で経費精算を行い収支率実績を算出しているため、目標期間（R2.10～R3.9）と実績期間（R2.4～R3.3）に乖離があることによる。	収支率目標：10.4%(R2.10～R3.9) 収支率実績：11.6%(R2.4～R3.3) 達成状況：112%	令和3年10月からの運行ルートでは、市中心部への移動は豊鉄バスへの乗継ぎが必要となるため、「豊川市1日フリー乗車券」等の周知を強化する。また、コミュニティバス同士の乗継ぎが従前より必要となるため、乗継ぎダイヤの周知を強化する。
御津線 （豊鉄タクシー）	あかね児童館～市役所		A 計画どおり実施している。	年間利用者目標：8,000人／年(R2.10～R3.9) 年間利用者実績：5,695人／年(R2.10～R3.9) 達成状況：71％ ・主に豊川市民病院への通院に利用されている路線である。 ・令和3年7月から令和3年9月にかけて東三河地域公共交通活性化協議会で実施したバス整理券ラリー＆歴史謎解きゲームで、目的地を御津線沿線の天平の里資料館に設定するなどの利用促進を図ったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年間の利用者実績は昨年度よりも1,754人減少し、収支率は2.9%減少した。	収支率目標：7.2%(R2.10～R3.9) 収支率実績：6.7%(R2.4～R3.3) 達成状況：93%	
一宮地区地域路線 ＜東回り＞ （豊鉄タクシー）	いかまい館～いかまい館		A 計画どおり実施している。	年間利用者目標：5,000人／年(R2.10～R3.9) 年間利用者実績：3,963人／年(R2.10～R3.9) 達成状況：79％ ・主にいかまい館のお風呂に利用されている路線である。 ・令和2年9月から令和2年11月にかけて東三河地域公共交通活性化協議会において実施した東三河リアル謎解きゲームで、一宮地区地域路線のいかまい館バス停に隣接する本宮の湯を目的地として設定するなどの利用促進を図ったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年間の利用者実績は昨年度よりも484人減少し、収支率は3.5%減少した。	収支率目標：9.3%(R2.10～R3.9) 収支率実績：4.9%(R2.4～R3.3) 達成状況：53%	令和3年10月に大幅な運行ルートの変更がなかった路線であるため、令和3年12月に実施したOD調査結果や利用実績に基づき、一宮地域公共交通運営協議会とも連携して利便性向上に努める。
一宮地区地域路線 ＜中回り＞ （豊鉄タクシー）	いかまい館～いかまい館					
一宮地区地域路線 ＜西回り＞ （豊鉄タクシー）	いかまい館～いかまい館					

< 地域公共交通計画の評価等結果の様式 >

豊川市地域公共交通計画の評価等結果（令和２年１０月～令和３年９月）

目標		目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
公共交通機関 利用者数	鉄道以外の合計 令和５年度 908,500人/年 令和７年度 980,000人/年	・基幹路線の改善・運行 ・地域路線の改善・運行 （路線全体の見直しと乗継を考慮したダイヤの設定） ・交通結節点の整備 ・バス停の待合環境改善 ・新たな料金体系制度の導入 （一体的でわかりやすい料金体系の導入） ・新たな料金支払方式の導入 ・公共交通案内の充実 ・周知・広報活動の実施 ・利用促進活動等の実施 ・事業評価の実施 ・新規移動手段の導入検討	—	—	—	令和５年度の目標値に対する評価を予定している。
	豊鉄バス新豊線・豊川線 令和５年度 370,000人/年 令和７年度 400,000人/年		—	—	—	
	豊川市内タクシー 令和５年度 445,000人/年 令和７年度 480,000人/年		—	—	—	
	主要な鉄道駅の１日あたりの乗車人数 令和５年度 20,000人/日 令和７年度 20,000人/日		—	—	—	
	コミュニティバス 令和３年度 87,000人/年 令和４年度 90,000人/年 令和５年度 93,500人/年 令和６年度 96,500人/年 令和７年度 100,000人/年		交通事業者の有する利用実績より計測	令和３年度目標 87,000人/年(R2.10～R3.9) 令和３年度実績 74,522人/年(R2.10～R3.9) 豊川国府線におけるバスロケーションシステム導入や、東三河地域公共交通活性化協議会と連携した利用促進策を実施するなどしたもの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い目標未達となった。	令和3年12月にＯＤ調査を実施し、令和3年10月の路線及び運賃体系の変更に伴う利用実態の変化を検証するとともに、ＯＤ調査結果及び利用者からの意見等を参考に、令和5年春のイオンモール豊川の出店に合わせて運行ルートやダイヤ等の変更を検討する。また、新たな料金支払方式として電子決済や定期券等の導入を検討し、利便性の向上に努める。	
	コミュニティバス年間収支率（利用者負担率） 令和３年度 9.4% 令和４年度 9.5% 令和５年度 9.7% 令和６年度 9.8% 令和７年度 10.0%		交通事業者の有するデータより算出	令和３年度目標 9.4%(R2.10～R3.9) 令和２年度実績 8.1%(R2.4～R3.3) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い運賃収入が減少したため、収支率目標が未達となった。		
コミュニティバス行政負担額 令和３年度 117,777千円/年 令和４年度 119,956千円/年 令和５年度 122,116千円/年 令和６年度 124,400千円/年 令和７年度 126,667千円/年	市及び交通事業者の有するデータより算出	令和３年度目標 117,777千円/年(R2.10～R3.9) 令和２年度実績 116,872千円/年(R2.4～R3.3) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により運賃収入が減少したものの、運行事業者と4～3月の期間で経費精算を行っていることで目標期間(R2.10～R3.9)と実績期間(R2.4～R3.3)に乖離があるため、目標達成となった。				
市民移動手段の公共交通分担率 令和５年度 8.4%		—	—	—	—	令和５年度の目標値に対する評価を予定している。
バス停・駅勢圏等カバー率 令和５年度 65.0% 令和７年度 70.0%		・基幹路線の改善・運行 ・地域路線の改善・運行 （路線全体の見直しと乗継ぎを考慮したダイヤの設定）	—	—	—	

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（○年○月～○年○月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

2. 【報告事項（2）】OD調査結果

2-1. OD調査の実施概要と回収結果

バス利用者の移動状況を把握するため、OD調査を以下のとおり実施しました。

豊川市コミュニティバス（10路線）：12/9（木）～11（土）：3日間

豊鉄バス 新豊線・豊川線（正岡～東上バス停）：12/9（木）・12/11（土）：2日間

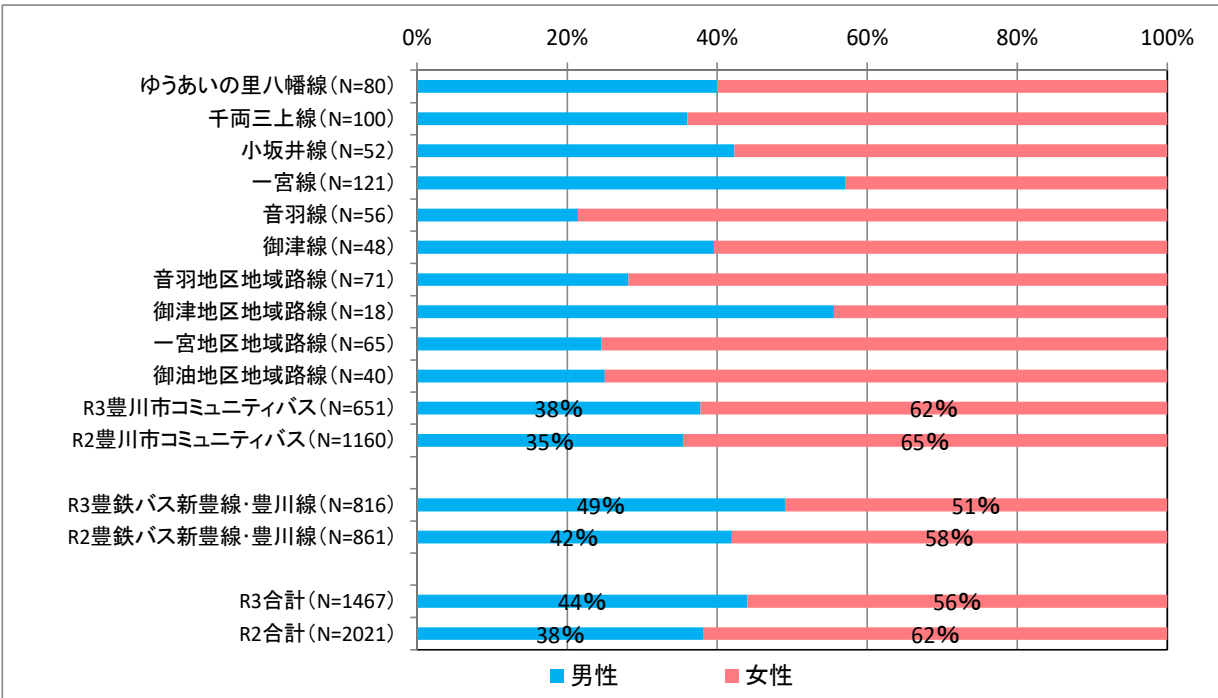
回答者数は全体では1,503人となっています。

また、豊川市コミュニティバスのOD調査期間中の利用者数に対するOD調査カードの回収率は、全体で95%でした。

路線名		12月			合計	調査期間 利用者数	利用者 数比
		9日 (木)	10日 (金)	11 (土)			
		晴	晴	晴			
豊川市 コミュニ ティバ ス	ゆうあいの里八幡線	28	29	23	80	82	98%
	千両三上線	36	38	27	101	102	99%
	小坂井線	20	18	14	52	55	95%
	一宮線	33	33	55	121	135	90%
	音羽線	21	24	17	62	62	100%
	御津線	13	22	14	49	52	94%
	音羽地区地域路線	26	34	13	73	73	100%
	御津地区地域路線	8	8	2	18	18	100%
	一宮地区地域路線	23	18	25	66	68	97%
	御油地区地域路線	26	9	10	45	52	87%
	合計	234	233	200	667	699	95%
豊鉄バス	新豊線・豊川線	508		328	836	-	-
全体合計		742	233	528	1,503	-	-

(2) 性別

全体では、女性の割合が56%（R2年度調査時：62%）を占めています。



(3) 年齢

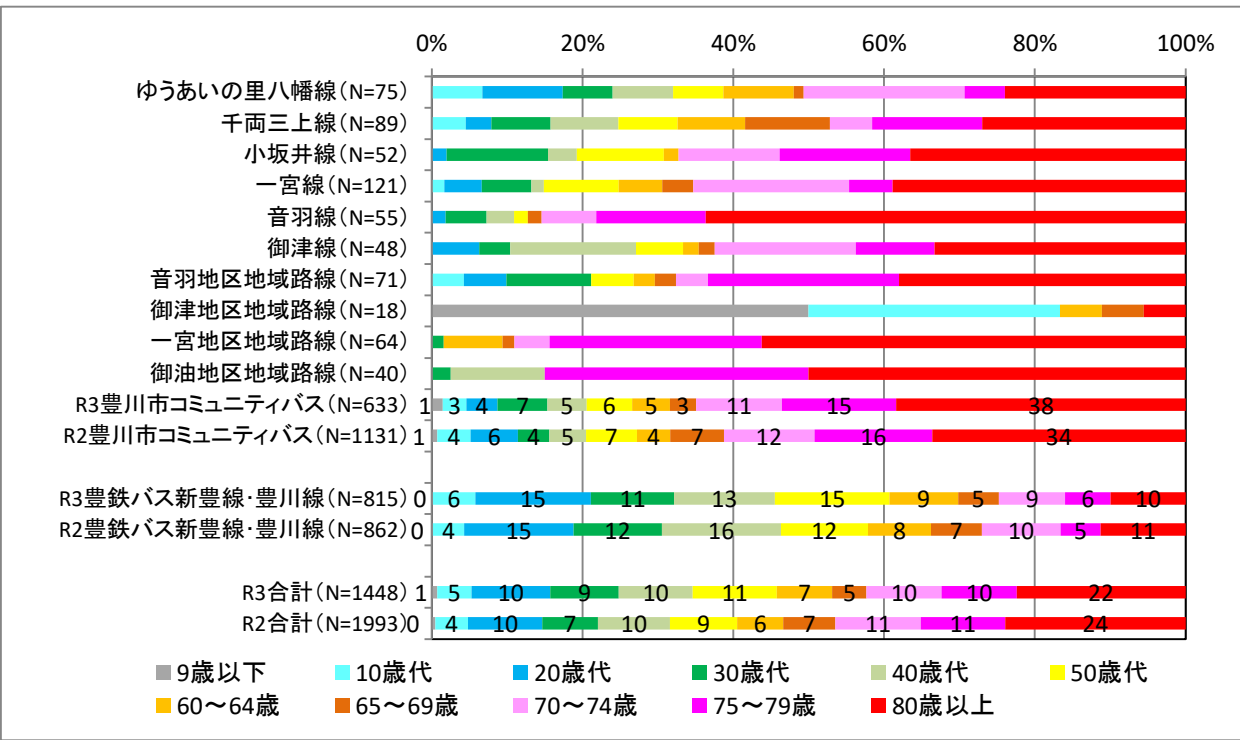
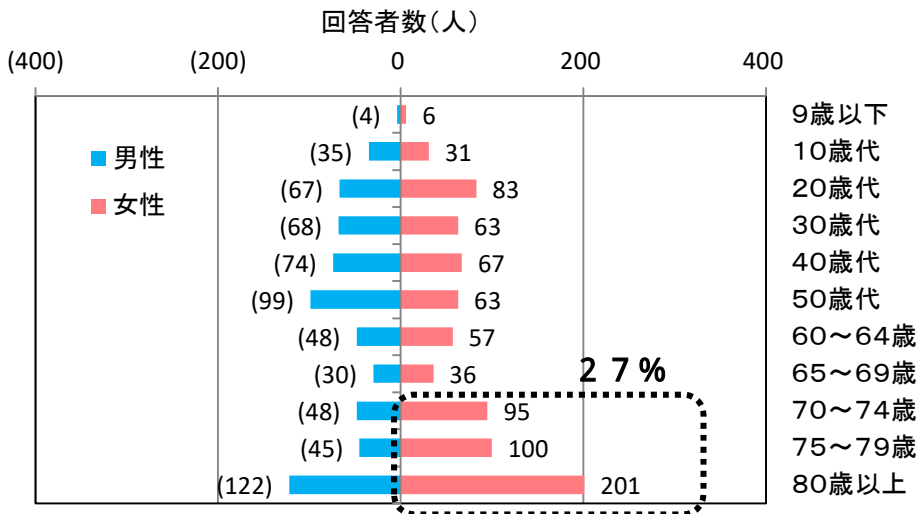
全体では、60歳以上の利用割合が54%（R2年度調査時：60%）を占めています。

豊川市コミュニティバスでは、60歳以上の利用割合が72%（R2年度調査時：73%）を占めています。

2-2. 調査結果

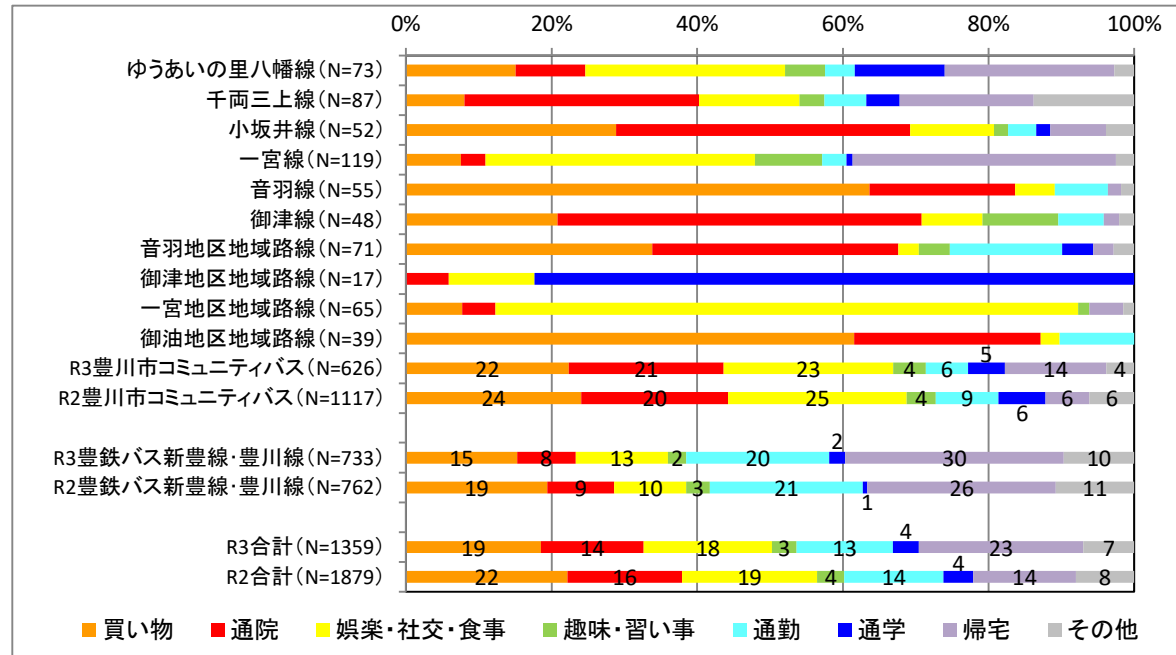
(1) 性別・年代別

全体では、70歳以上の女性の割合が回答者数の27%（R2年度調査時：31%）を占めています。



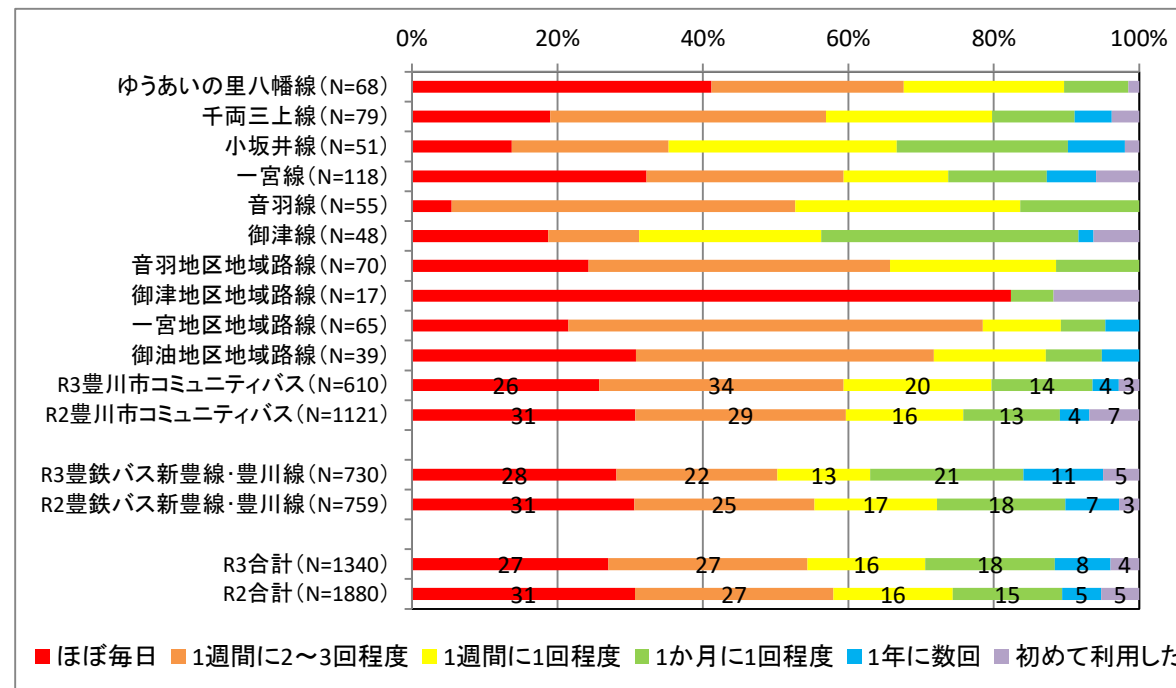
(4) 利用目的

令和2年度調査と同様、全体では「買い物」、「通院」、「娯楽・社交・食事」の利用目的が約半分を占めていますが、いずれも前年度よりも減少しています。



(5) 利用頻度

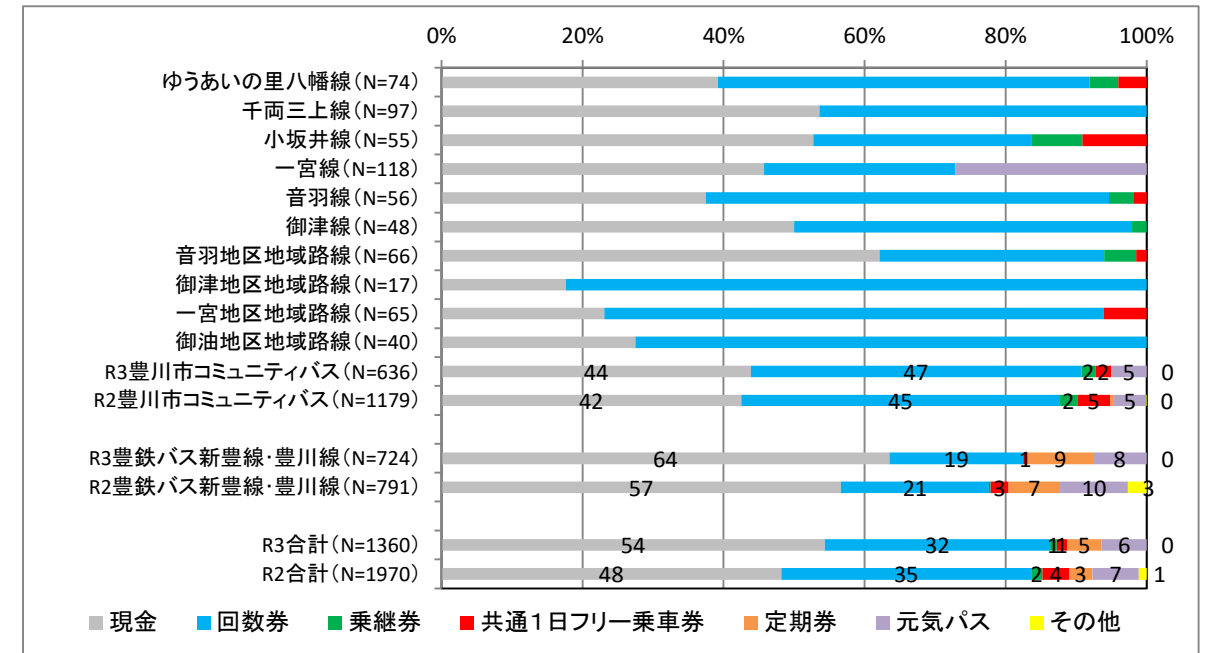
令和2年度調査と同様、「ほぼ毎日」「1週間に2～3回程度」利用の割合が豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに高くなっており、1週間に1回以上利用する割合は豊川市コミュニティバスでは80%、豊鉄バスでは63%となっています。



(6) 運賃支払いの方法

豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに、令和2年度調査よりも現金での運賃支払いが増加しています。

共通1日フリー乗車券の利用割合は、豊川市コミュニティバスでは令和2年度調査と比べて3%減少し、豊鉄バスでは2%減少しました。

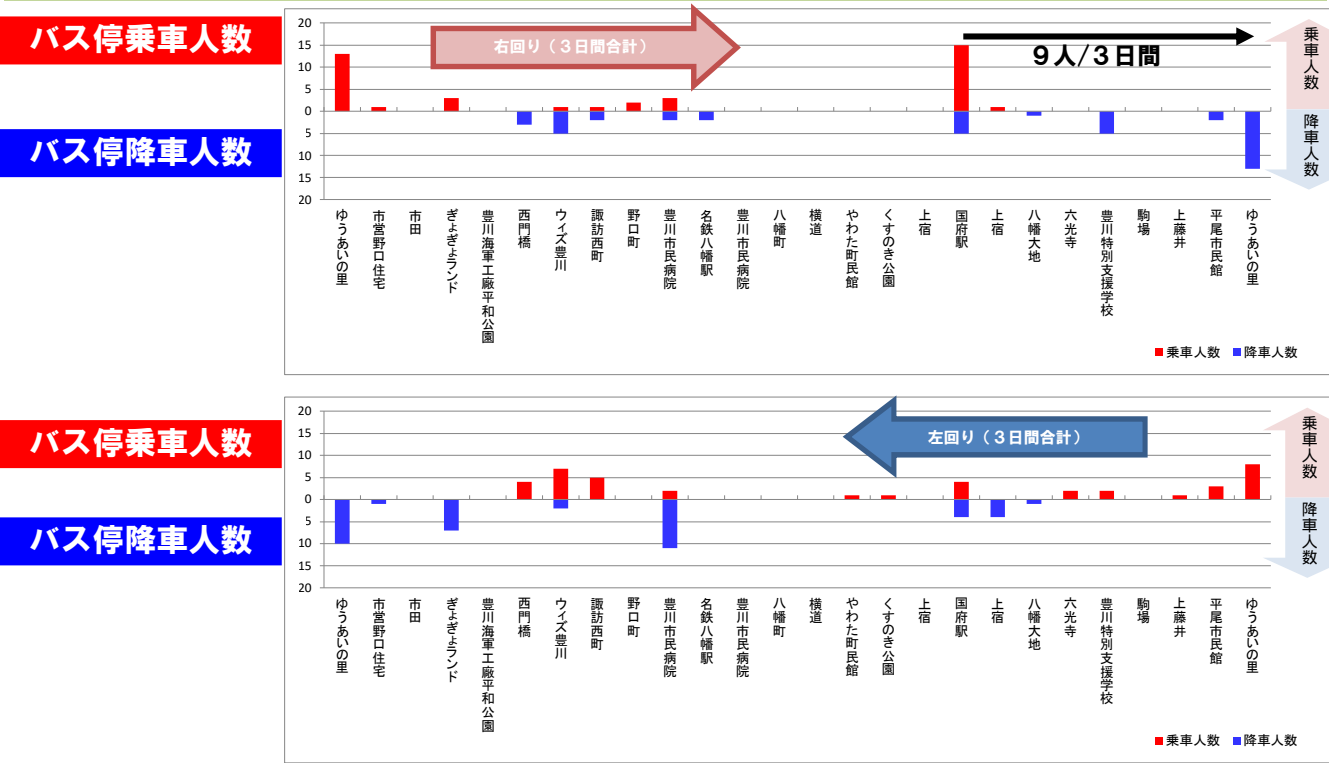


2-3. OD調査移動数の結果概要

(1) グラフの見方

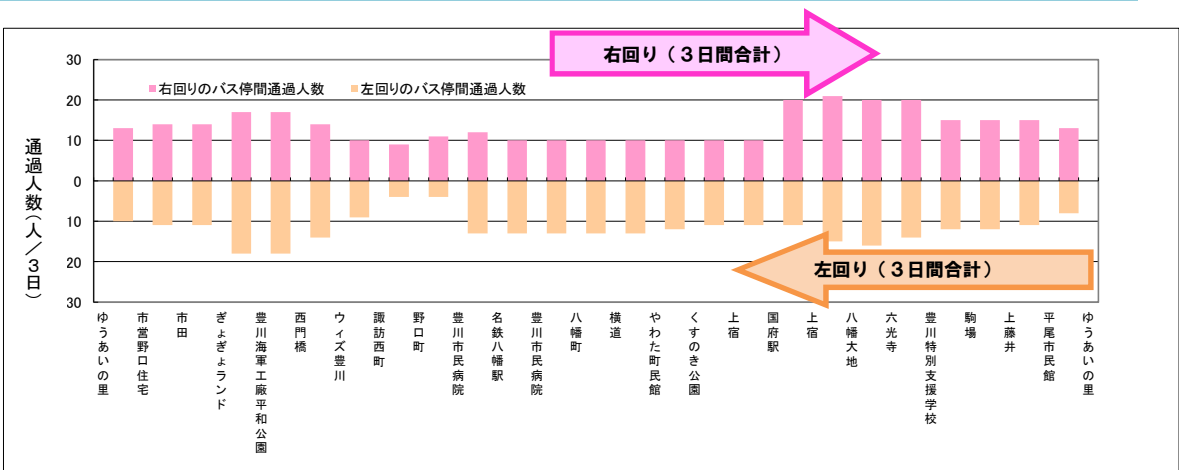
各路線のグラフは、「OD調査時のバス停別の乗降者数」と「OD調査時のバス程通過人数」の2種類があります。また、それぞれの見方は下記の「グラフの見方」とおりです。なお、OD調査の結果は12ページ右側以降のとおりです。

OD調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量（例：ゆうあいの里八幡線）



グラフの見方 <<例：ゆうあいの里八幡線>>
○方向別に記載しています。
○バス停ごとの赤いグラフは乗車人数、青いグラフは降車人数を示しています。
○黒色の横棒及び数値はそのバス停間での移動人数を示します。ただし、紙面の関係で全ての移動を表記できないため、移動数が多いものを列挙しています。
例) ゆうあいの里八幡線では国府駅から乗車しゆうあいの里で降車した方が9人/3日です。

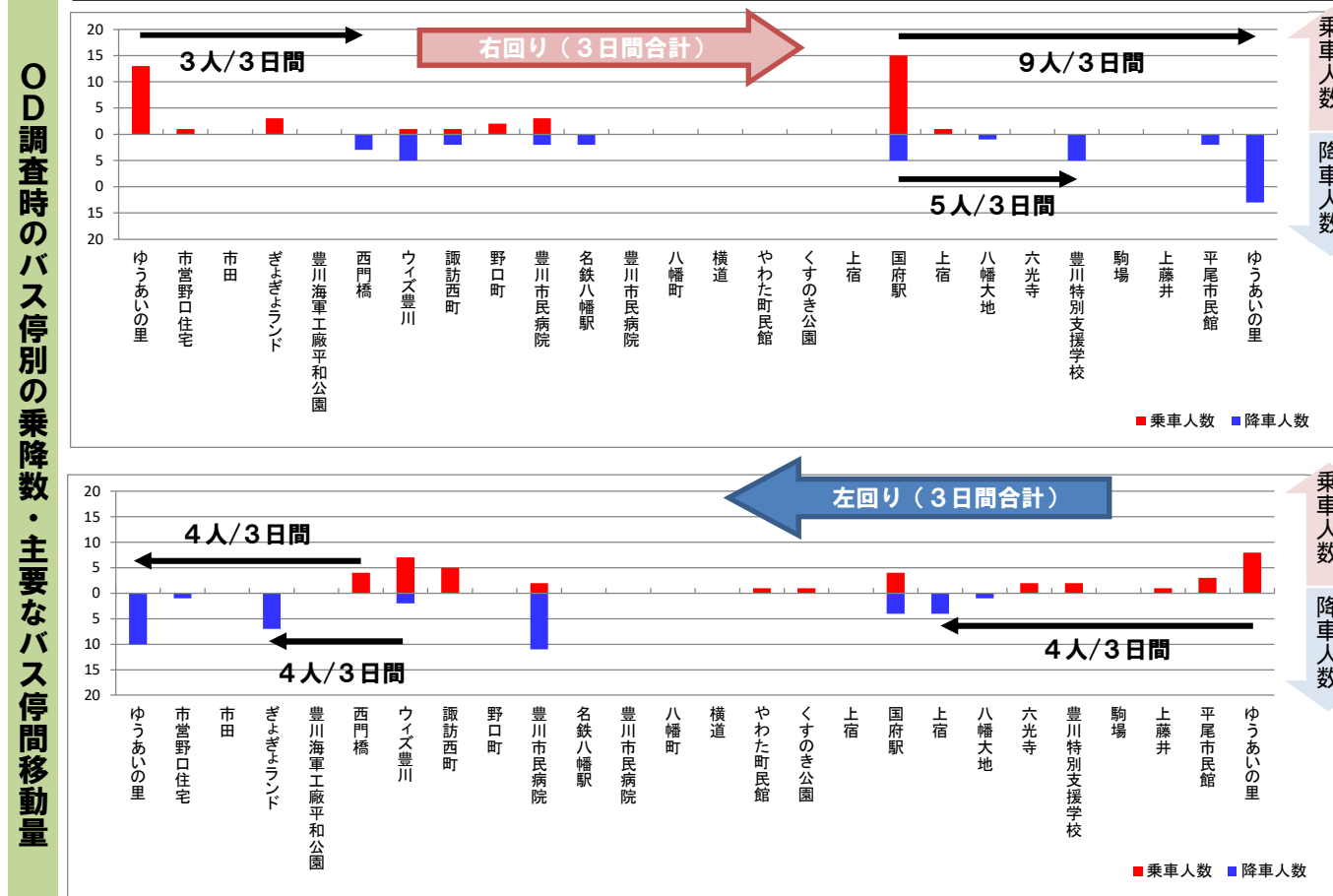
OD調査時のバス停通過人数（例：ゆうあいの里八幡線）



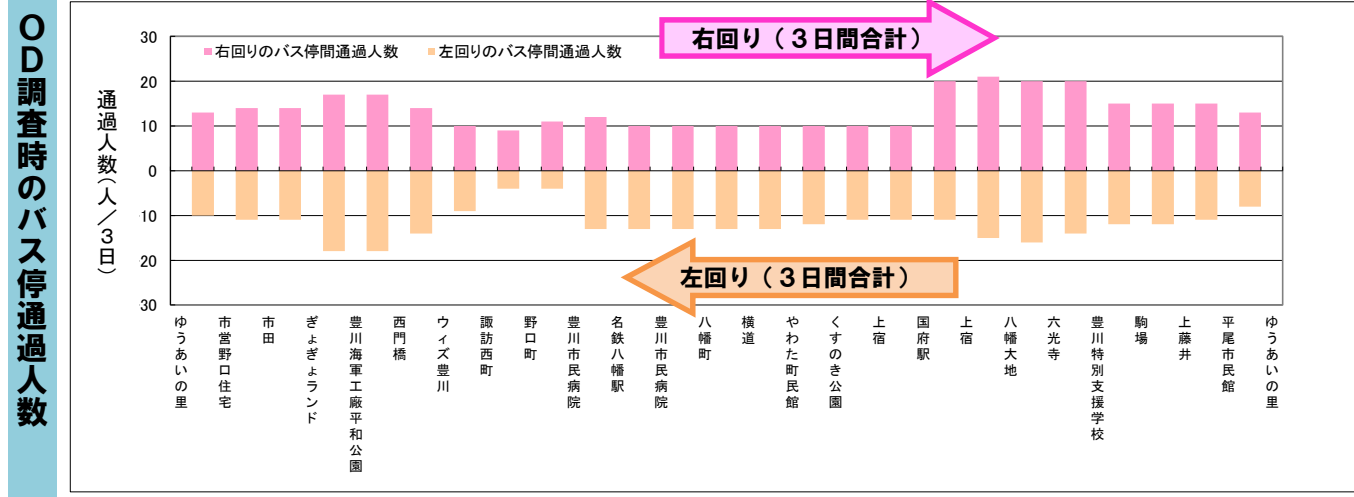
グラフの見方 <<例：ゆうあいの里八幡線>>
○ピンク色またはオレンジ色のグラフ縦軸は、各方面への通過人数（人/調査日合計）を示します。

(2) ゆうあいの里八幡線（3日間：バス停出発時の通過人数を方向別に表示）

- ・右回りは、「国府駅」から乗車し「豊川特別支援学校」及び「ゆうあいの里」で降車する利用が多くなっています。
- ・左回りは、「ゆうあいの里」から乗車し「上宿」で降車、「ウイズ豊川」から乗車し「ぎょぎょランド」で降車、「西門橋」から乗車し「ゆうあいの里」で降車する利用が多くなっています。



右回りの移動数 40（人/3日間計）
左回りの移動数 40（人/3日間計）

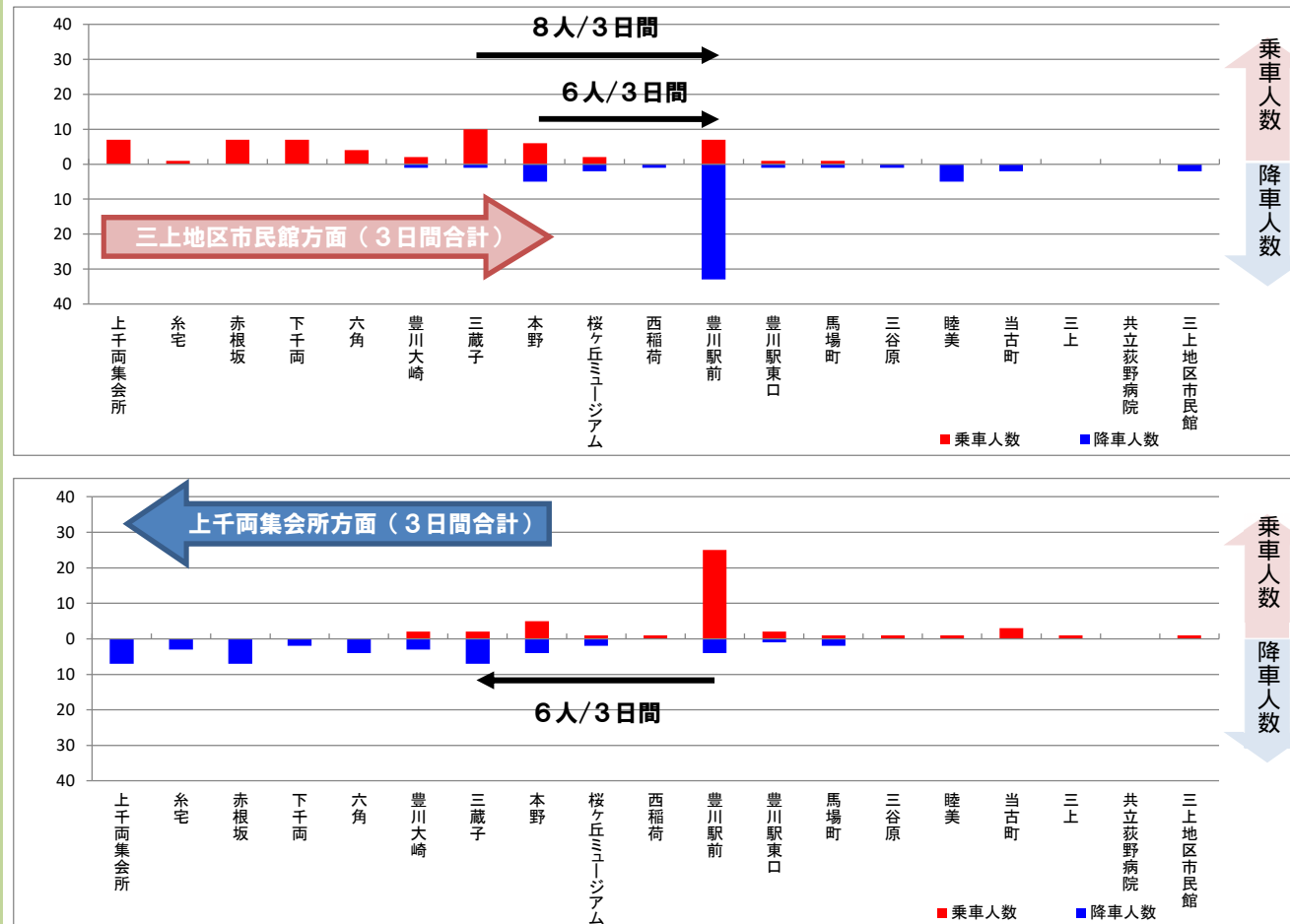


OD調査時のバス停通過人数

(3) 千両三上線（3日間：バス停出発時の通過人数を方向別に表示）

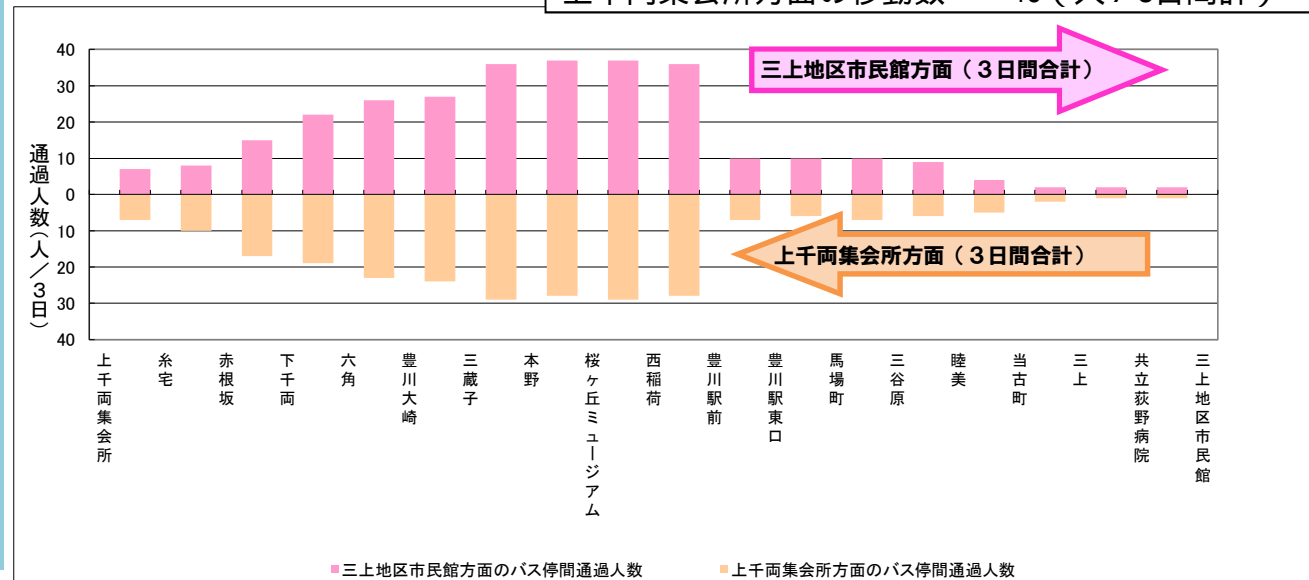
- ・三上地区市民館方面は、「三蔵子」、「本野」から乗車し「豊川駅前」で降車する利用が多くなっています。
- ・上千両集会所方面は、「豊川駅前」から乗車し「三蔵子」で降車する利用が多くなっています。

OD調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量



三上地区市民館方面の移動数 55（人／3日間計）
上千両集会所方面の移動数 46（人／3日間計）

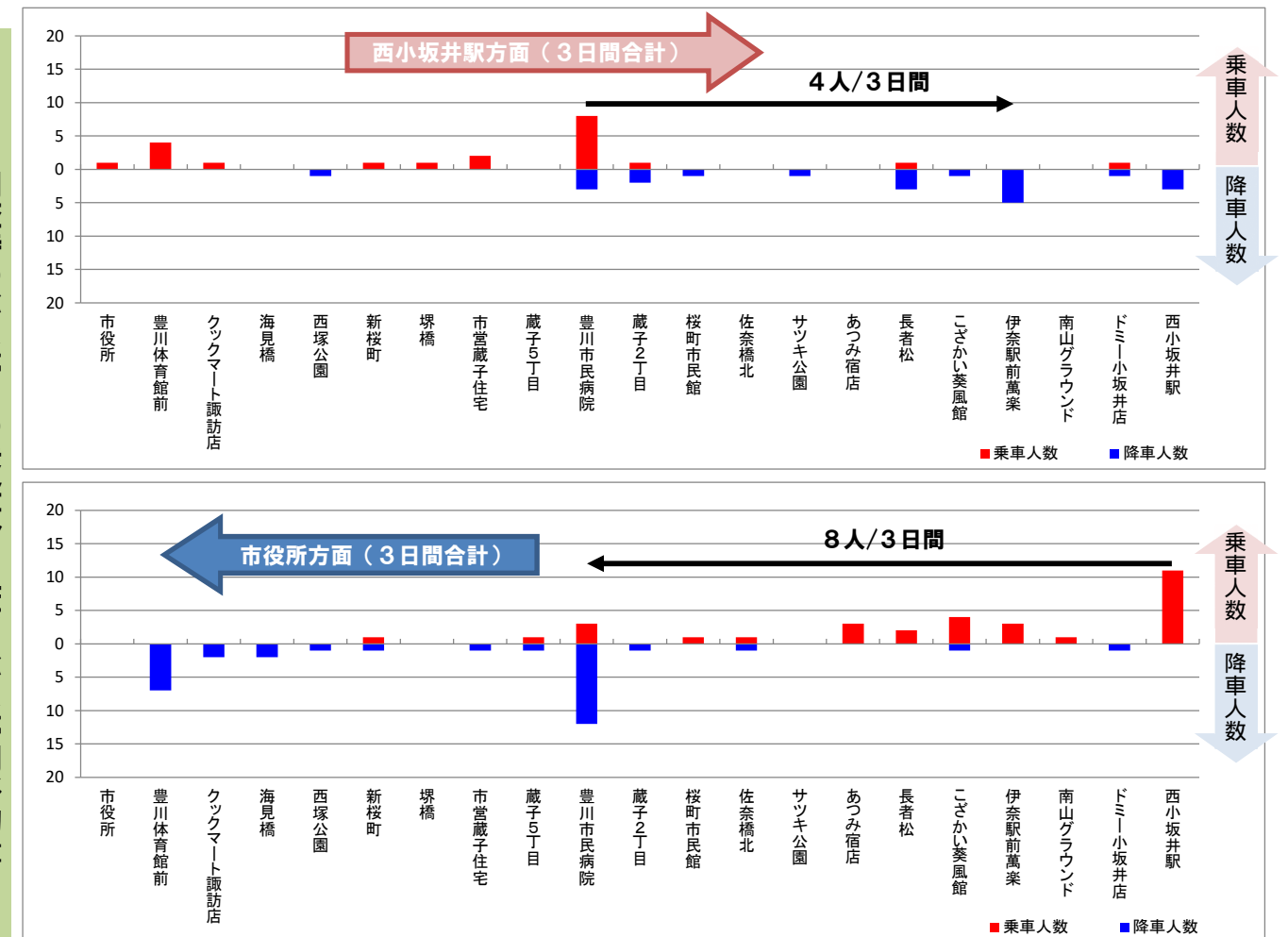
OD調査時のバス停通過人数



(4) 小坂井線（3日間：バス停出発時の通過人数を方向別に表示）

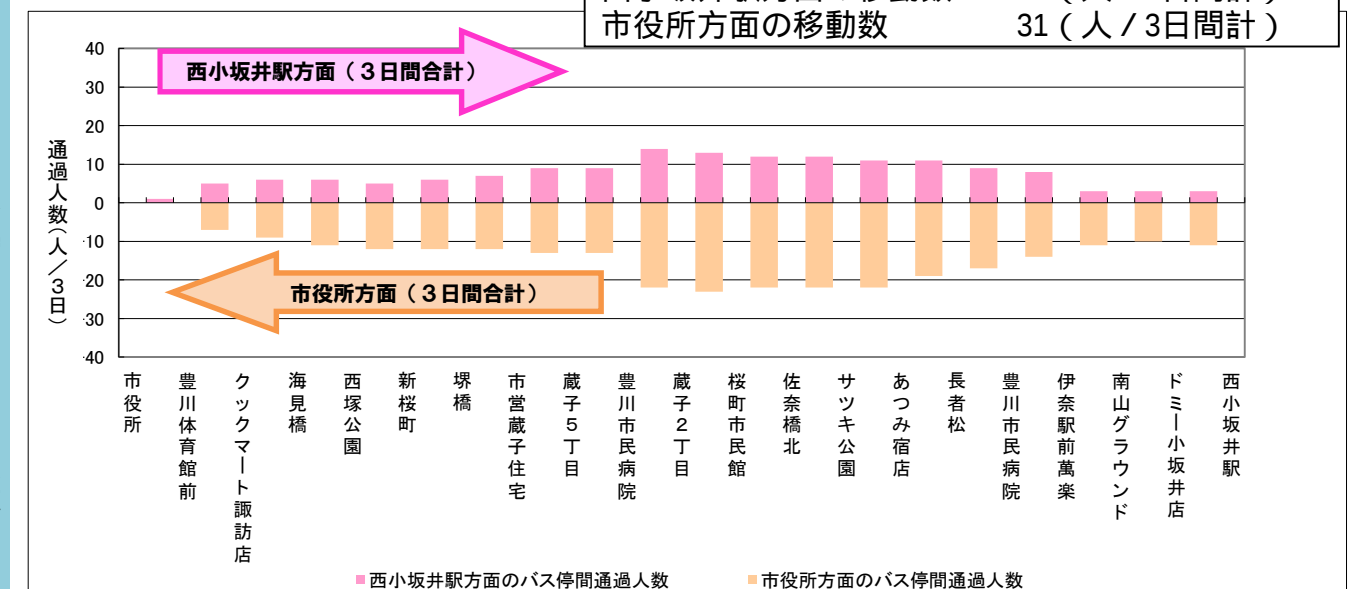
- ・西小坂井駅方面は、「豊川市民病院」から乗車し「伊奈駅前萬楽」で降車する利用が多くなっています。
- ・市役所方面は、「西小坂井駅」から乗車し「豊川市民病院」で降車する利用が多くなっています。

OD調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量



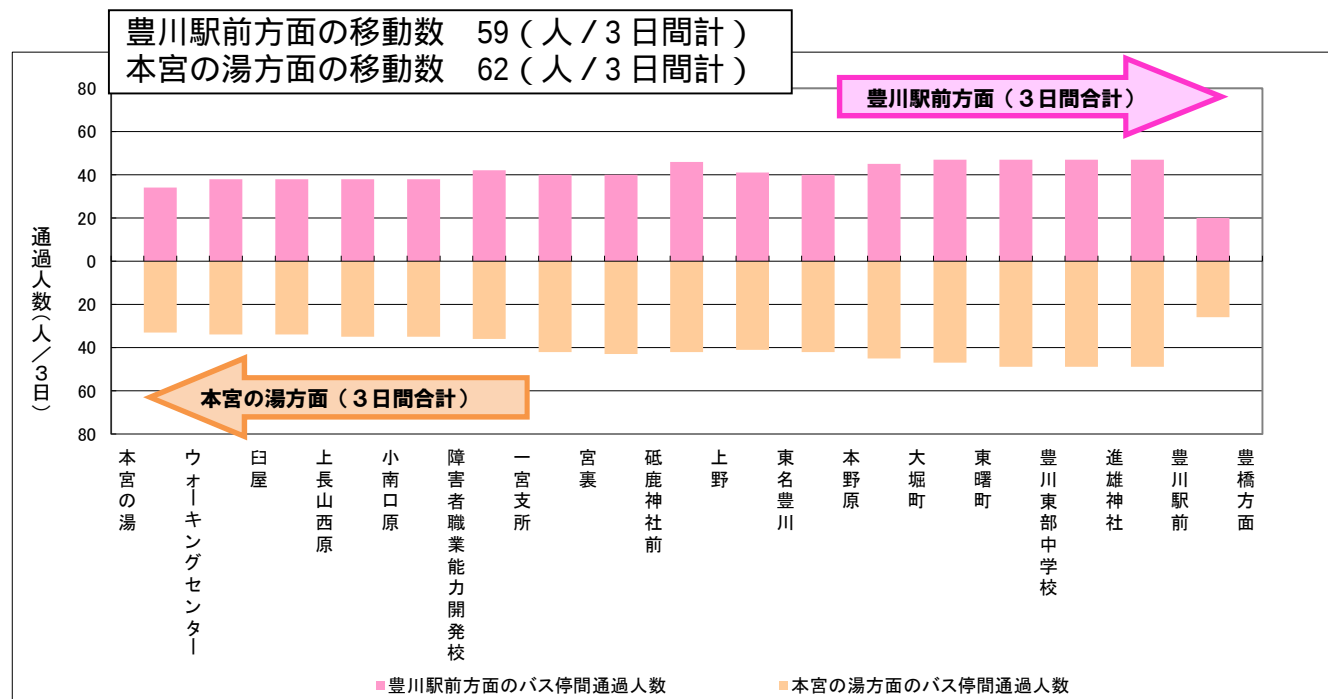
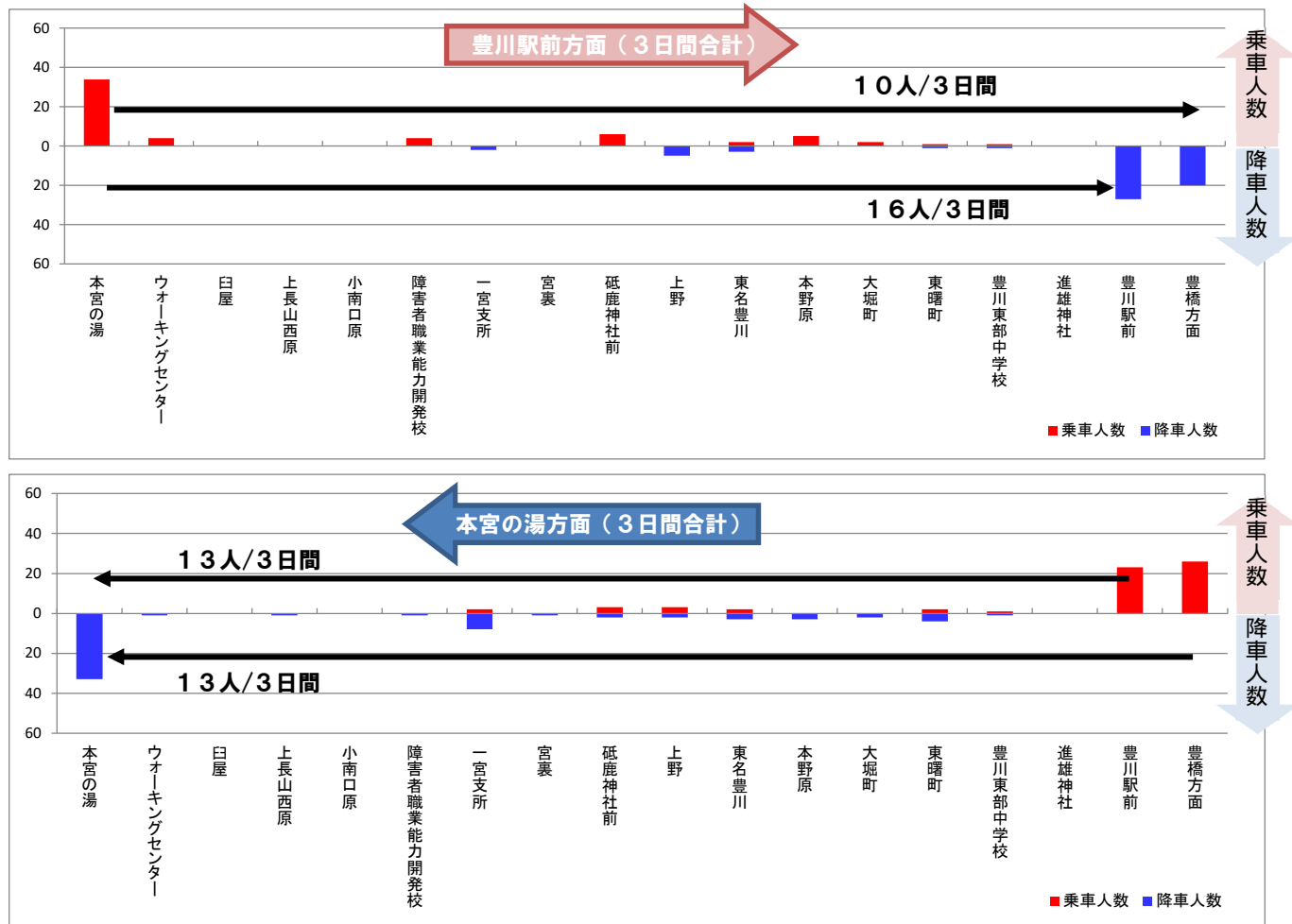
西小坂井駅方面の移動数 21（人／3日間計）
市役所方面の移動数 31（人／3日間計）

OD調査時のバス停通過人数



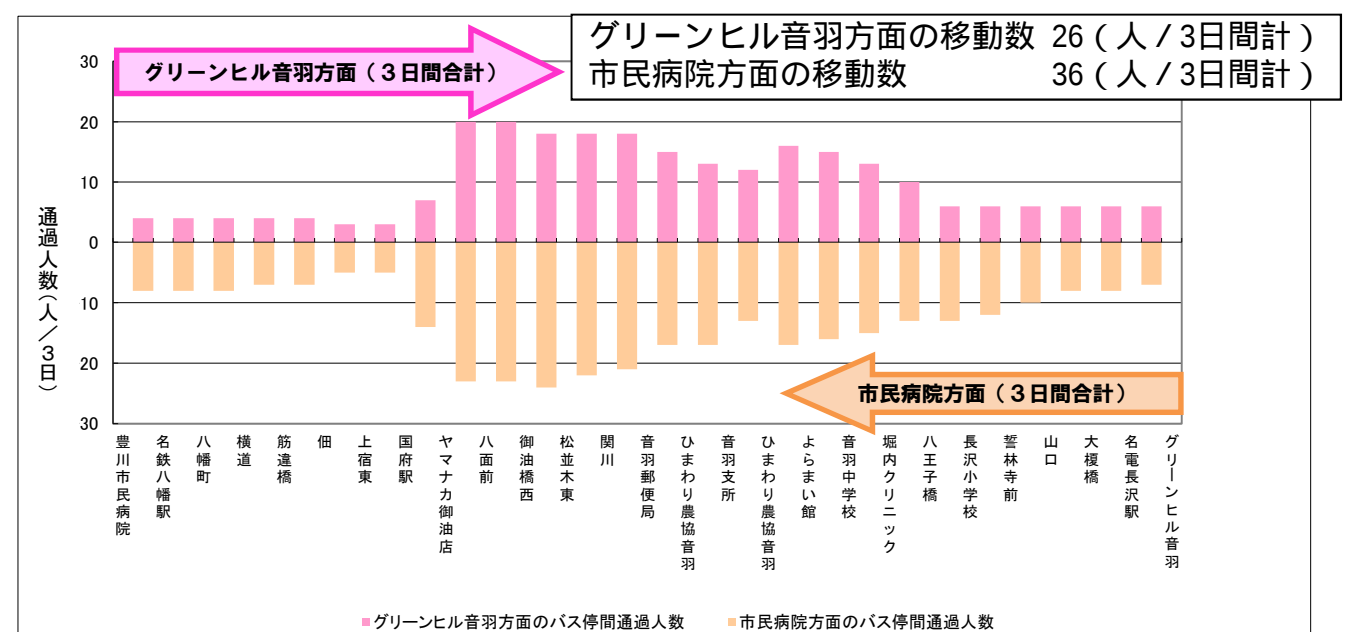
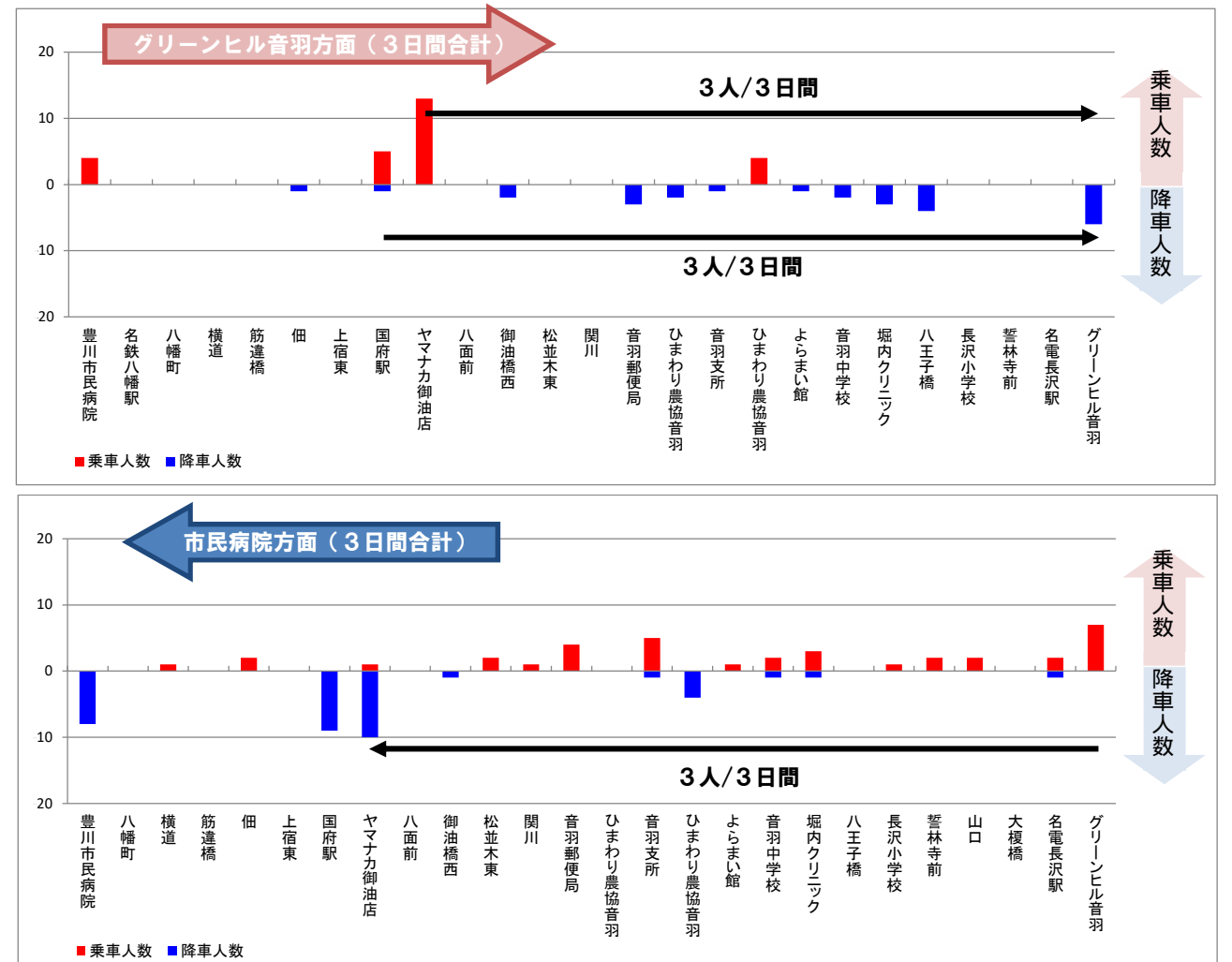
(5) 一宮線 (3日間: バス停出発時の通過人数を方向別に表示)

- ・豊川駅前方面は、「本宮の湯」から乗車し「豊川駅前」及び「豊橋方面」で降車する利用が多くなっています。
- ・本宮の湯方面は、「豊川駅前」及び「豊橋方面」から乗車し「本宮の湯」で降車する利用が多くなっています。



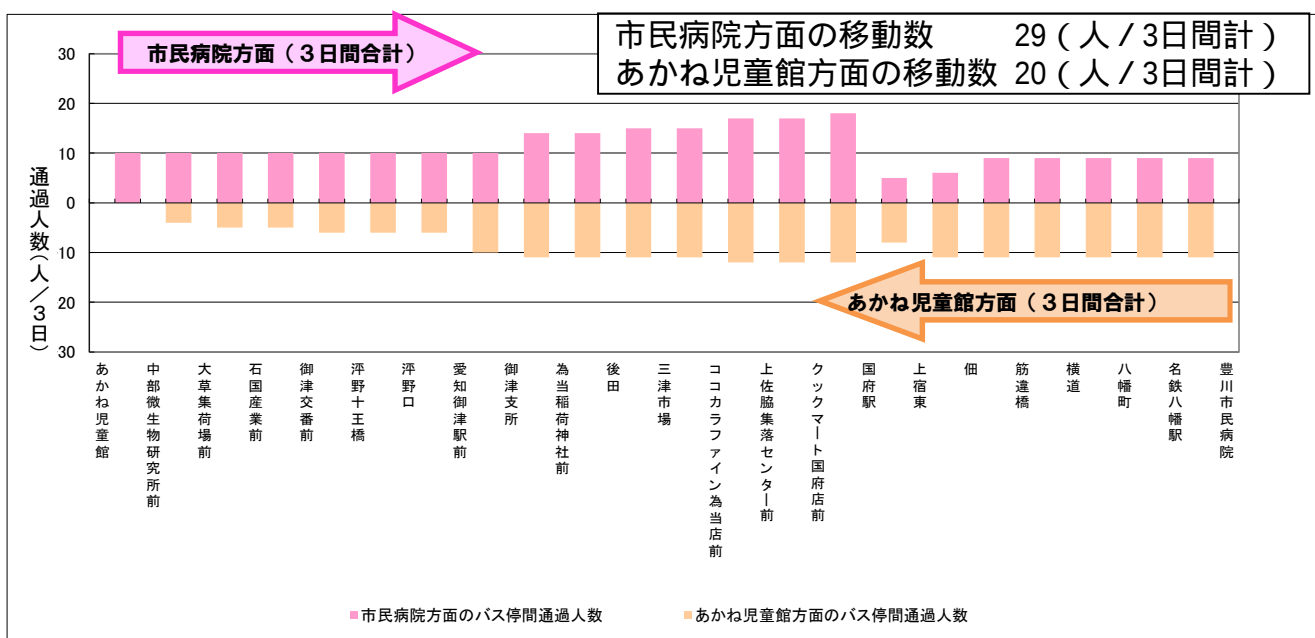
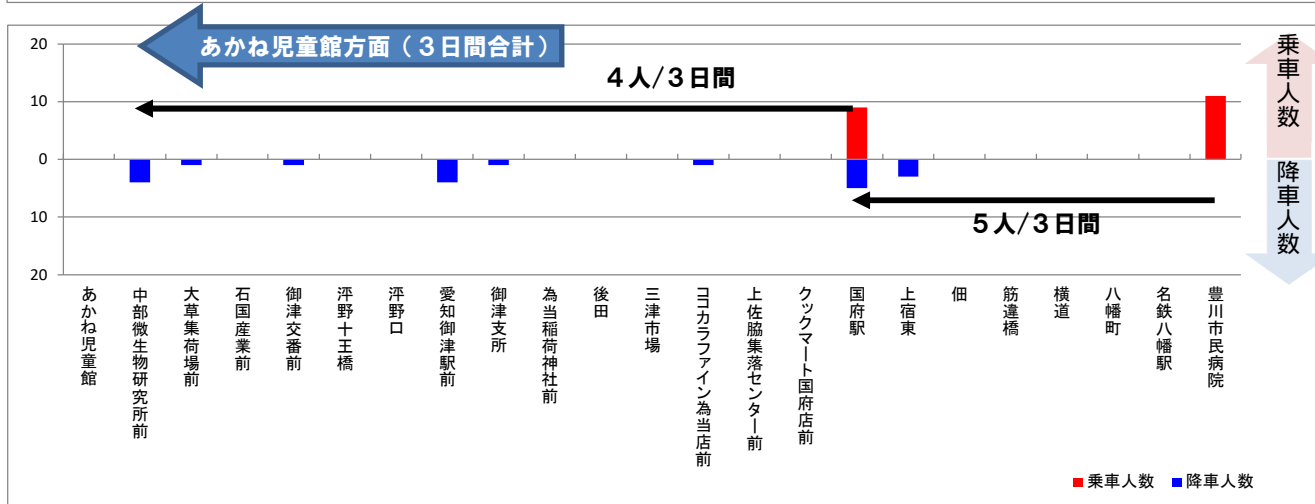
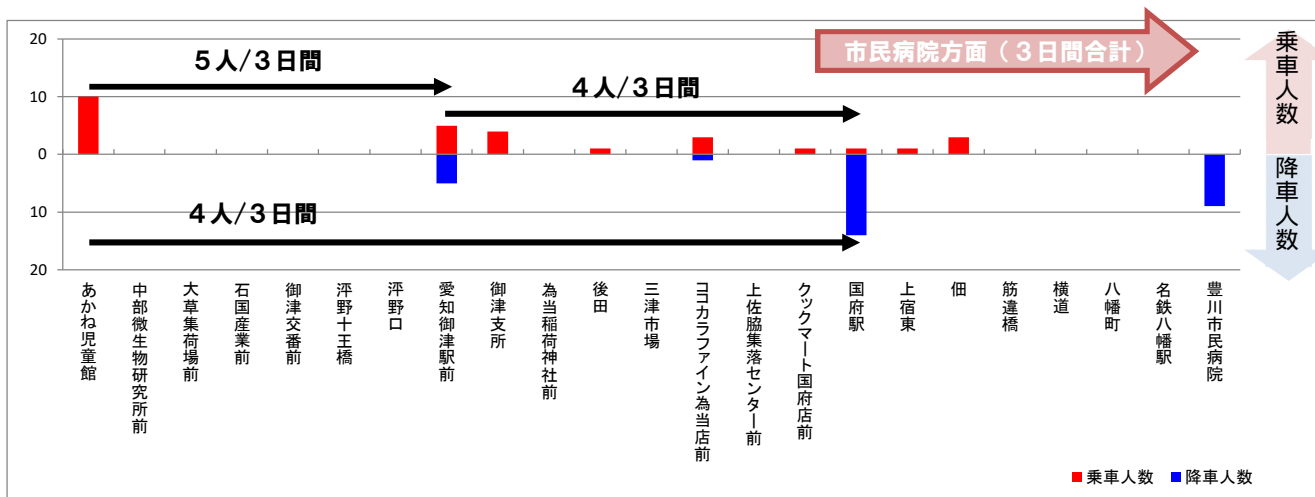
(6) 音羽線 (3日間: バス停出発時の通過人数を方向別に表示)

- ・グリーンヒル音羽方面は、「国府駅」及び「ヤマナカ御油店」から乗車し「グリーンヒル音羽」で降車する利用が多くなっています。
- ・市民病院方面は、「グリーンヒル音羽」から乗車し「ヤマナカ御油店」で降車する利用が多くなっています。



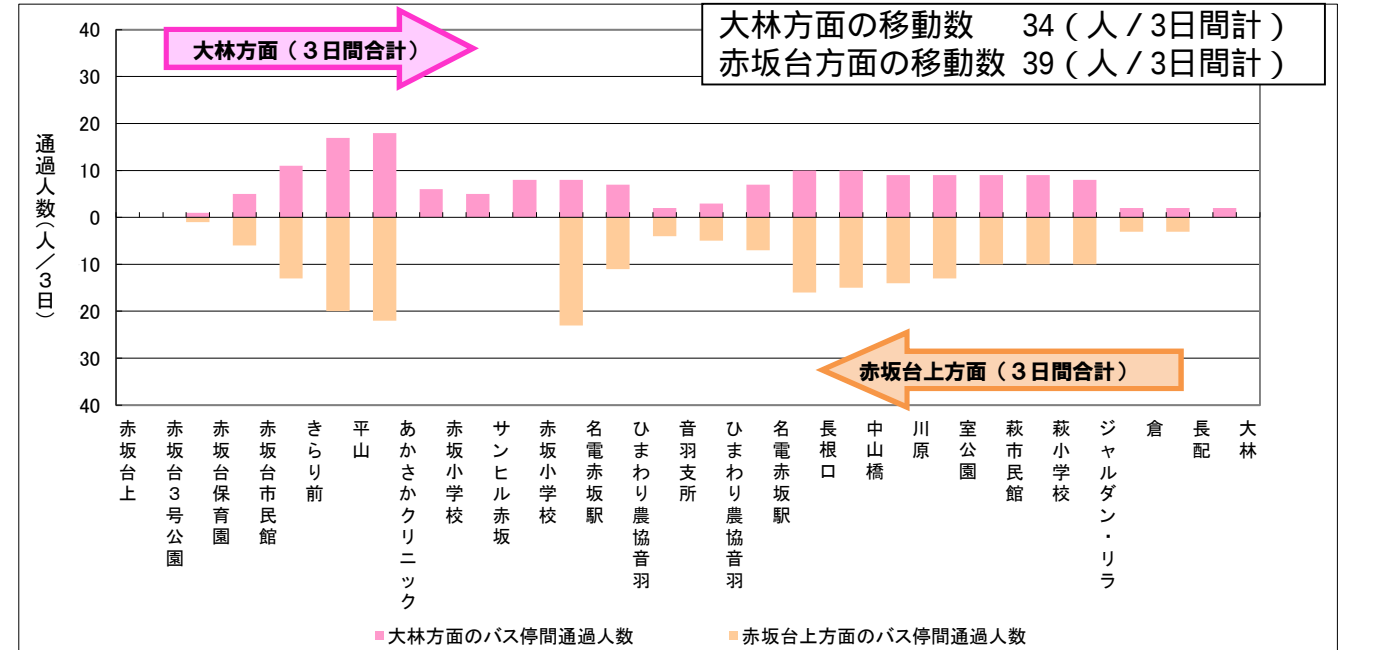
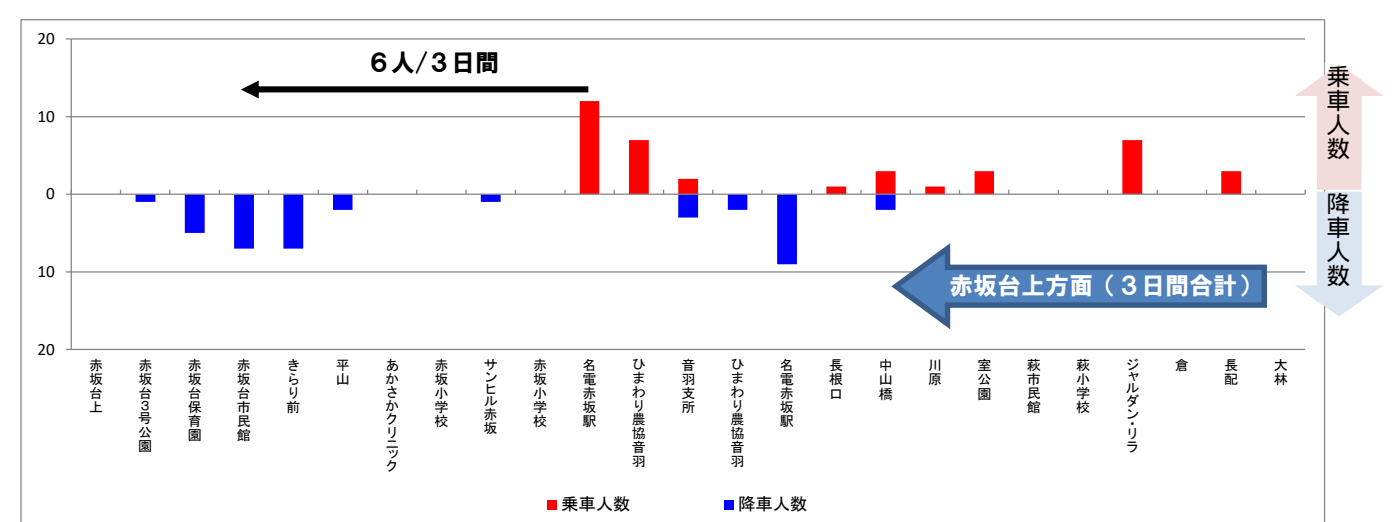
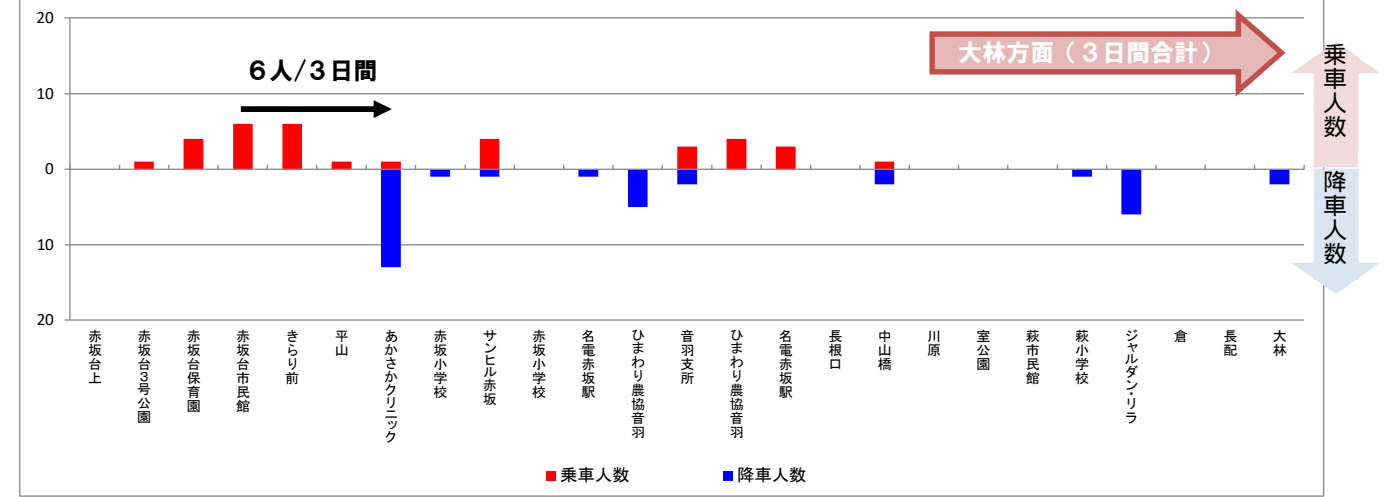
（７）御津線（３日間：バス停出発時の通過人数を方向別に表示）

- ・市民病院方面は、「あかね児童館」から乗車し「愛知御津駅前」及び「国府駅」で降車、「愛知御津駅前」から乗車し「国府駅」で降車する利用が多くなっています。
- ・あかね児童館方面は、「豊川市民病院」から乗車し「国府駅」で降車、「国府駅」で乗車し「中部微生物研究所前」で降車する利用が多くなっています。



（８）音羽地区地域路線（３日間：バス停出発時の通過人数を方向別に表示）

- ・大林方面の利用は、「赤坂台市民館」から乗車し「あかさかクリニック」で降車する利用が多くなっています。
- ・赤坂台上方面の利用は、「名電赤坂駅」から乗車し「赤坂台市民館」で降車する利用が多くなっています。

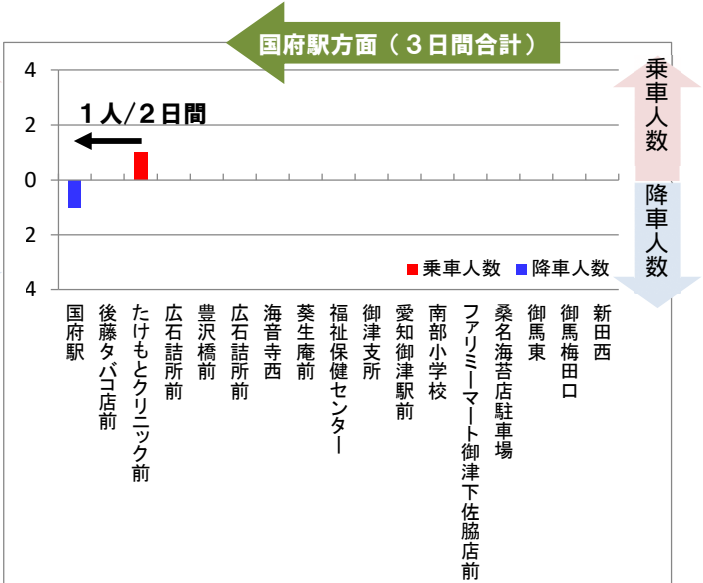
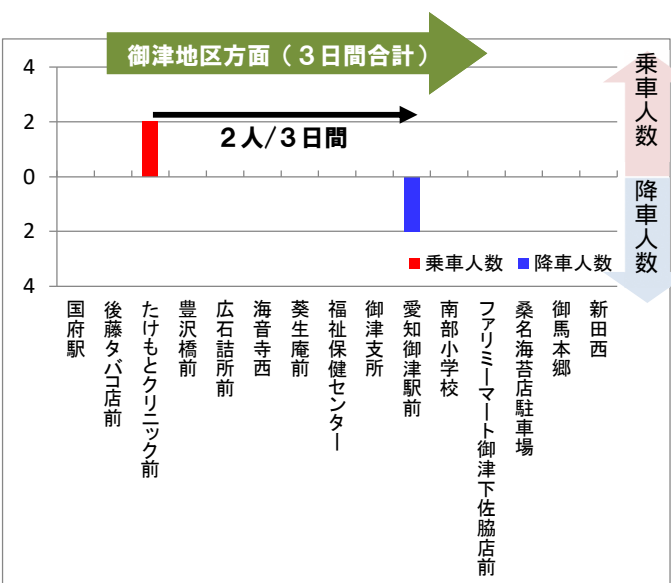
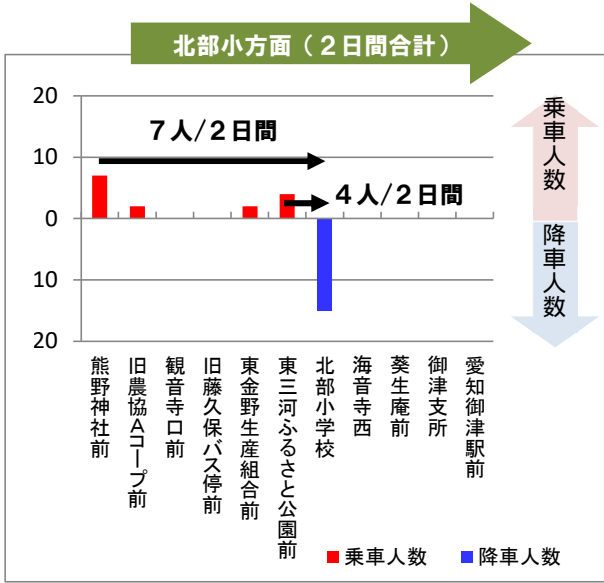


(9) 御津地区地域路線 (3 日間 : バス停出発時の通過人数を方向別に表示)

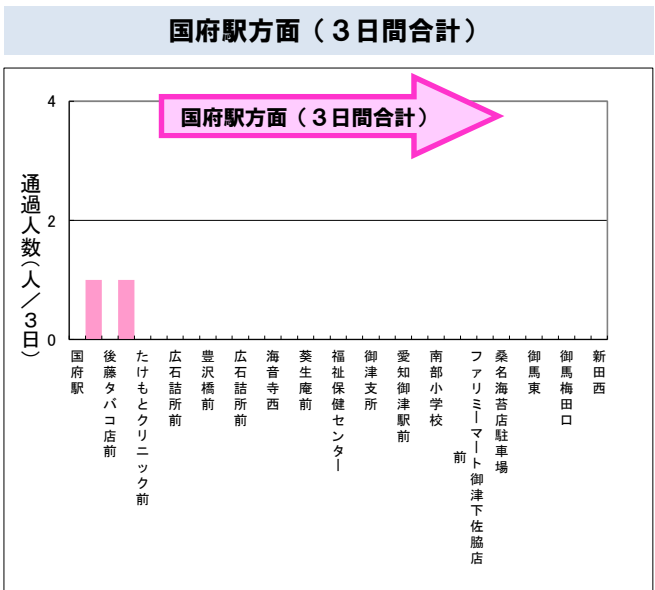
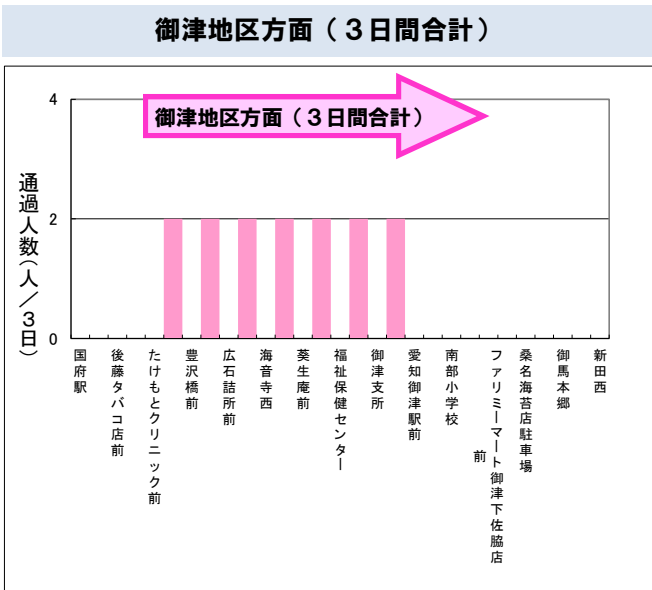
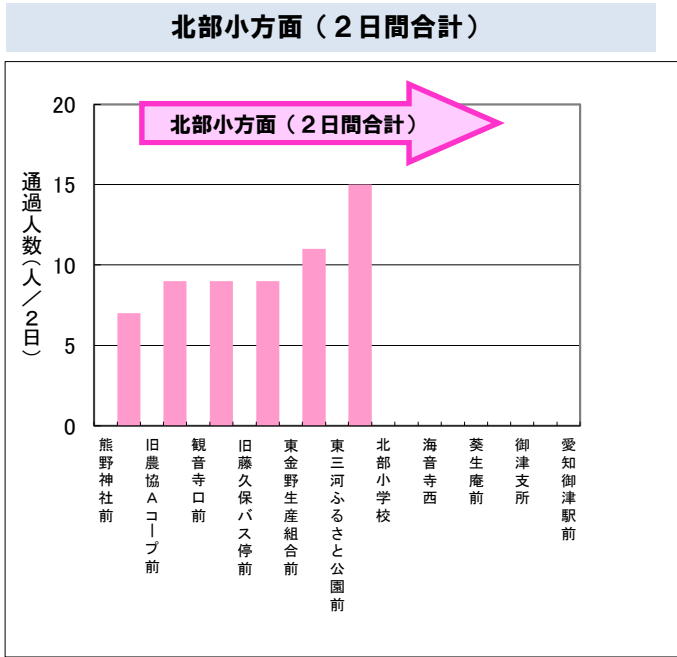
- ・ 北部小方面は、2 日間で 1 5 人の利用となっています。
- ・ 御津地区方面は 3 日間で 2 人、国府駅方面は 1 人と、利用が目立って多い区間はみられません。

1) 北部小方面の移動数	15 (人 / 2日間計)
2) 御津地区方面の移動数	2 (人 / 3日間計)
3) 国府駅方面の移動数	1 (人 / 3日間計)

OD 調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量



OD 調査時のバス停通過人数

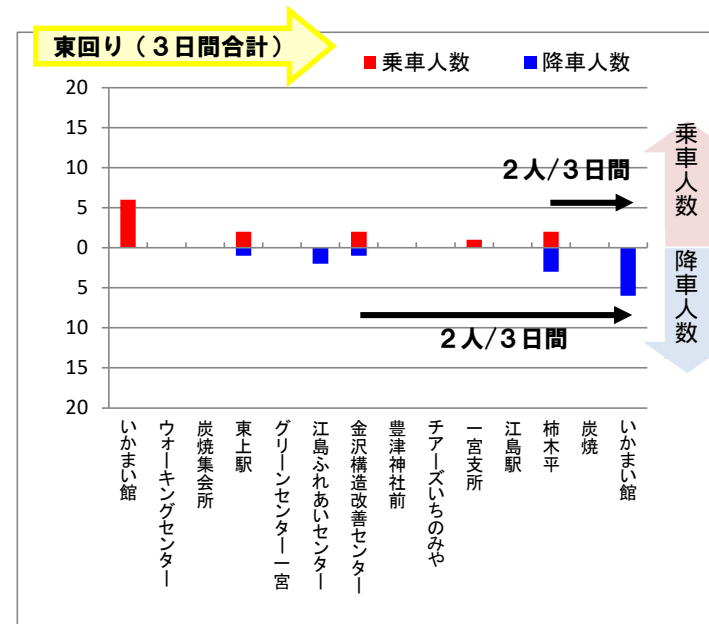


(10) 一宮地区地域路線 (3日間: バス停出発時の通過人数を方向別に表示)

- ・東回りは、「金沢構造改善センター」及び「柿木平」から乗車し「いかまい館」で降車する利用が多くなっています。
- ・中回りは、「いかまい館」から乗車し「長山駅」で降車、「一宮旭」及び「長山駅」から乗車し「いかまい館」で降車する利用が多くなっています。
- ・西回りは、「いかまい館」から乗車し「足山田公民館」で降車、「三河一宮駅」から乗車し「いかまい館」で降車する利用が多くなっています。

1) 東回りの移動数	13 (人/3日間計)
2) 中回りの移動数	22 (人/3日間計)
3) 西回りの移動数	31 (人/3日間計)

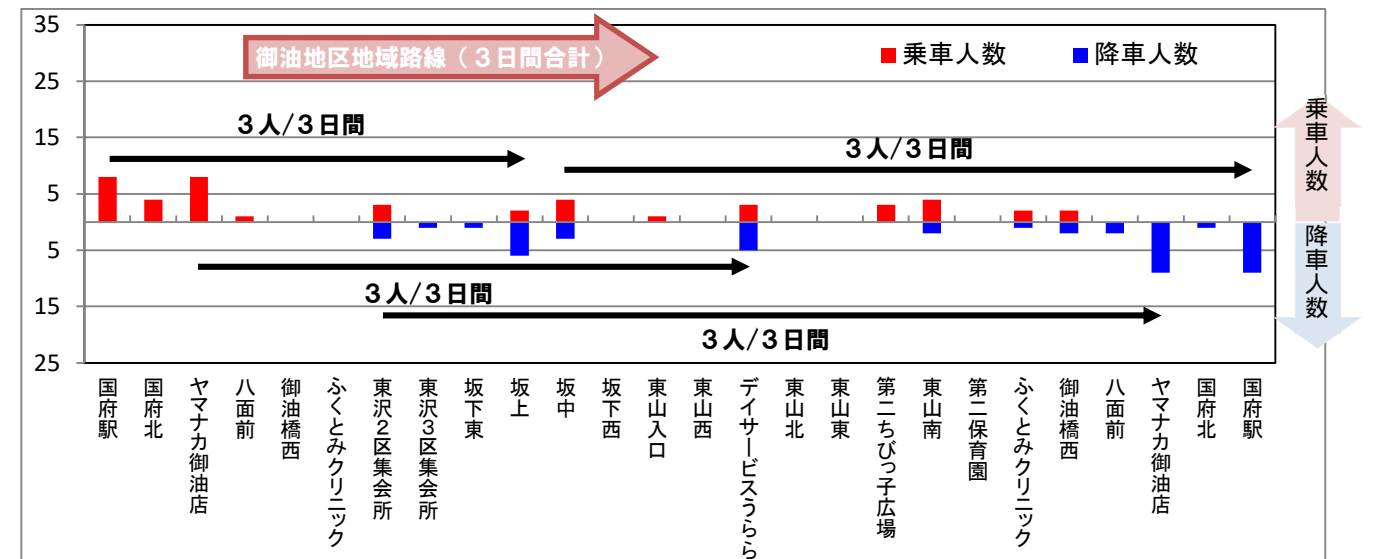
OD調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量



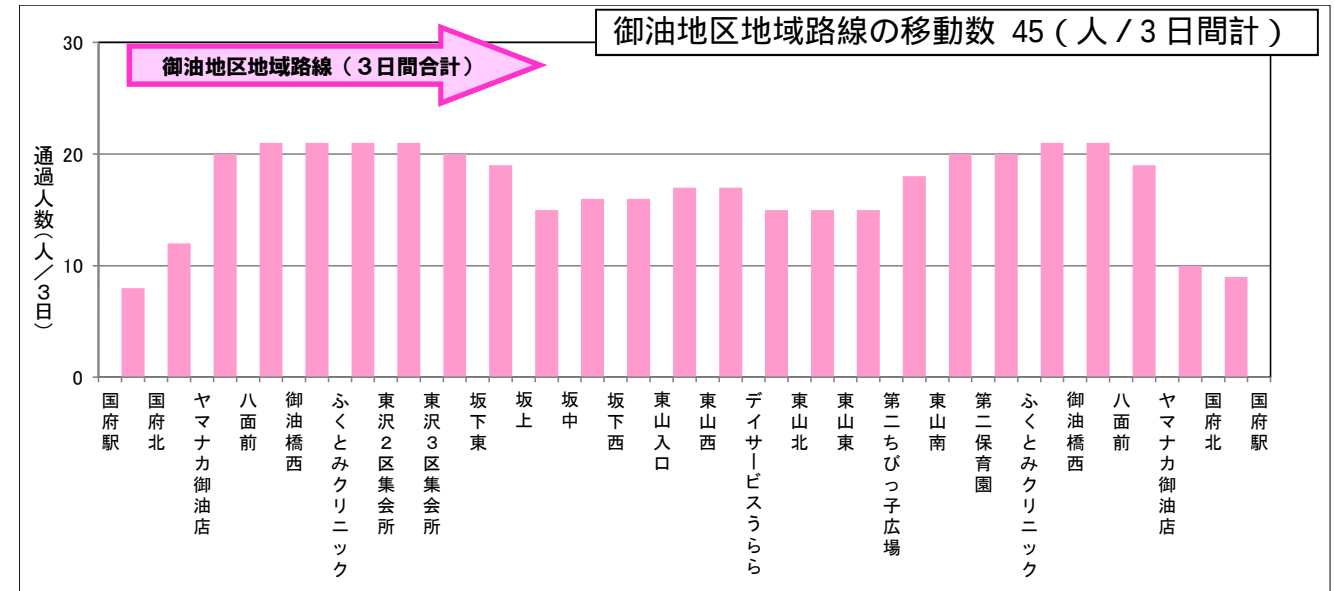
(11) 御油地区地域路線 (3日間: バス停出発時の通過人数を方向別に表示)

- ・御油地区地域路線では、「国府駅」で乗車し「坂上」で降車、「ヤマナカ御油店」で乗車し「デイサービスうらら」で降車、「東沢2区集会所」で乗車し「ヤマナカ御油店」で降車、「坂中」で乗車し「国府駅」で降車する利用が多くなっています。

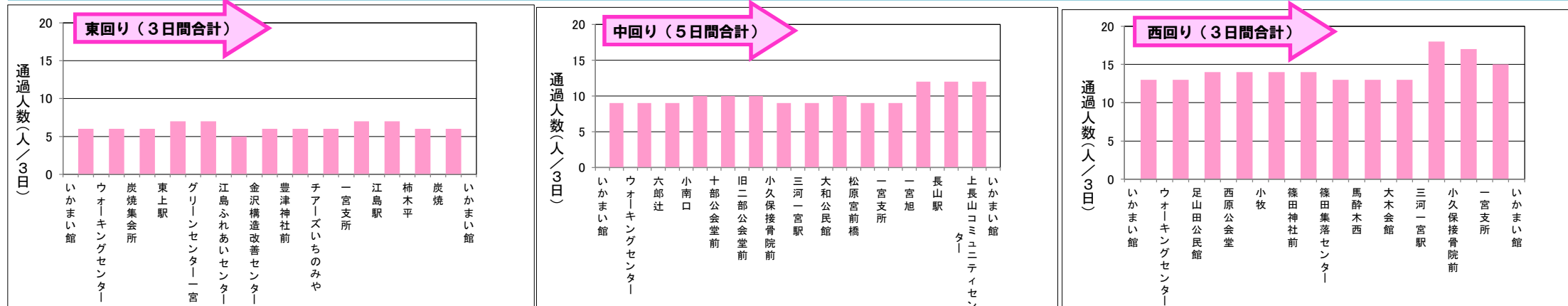
OD調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量



OD調査時のバス停通過人数 (御油地区地域路線)



OD調査時のバス停通過人数 (一宮地区地域路線)



① 平日調査（バス停出発時の通過人数を方向別に表示）

- OD調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量



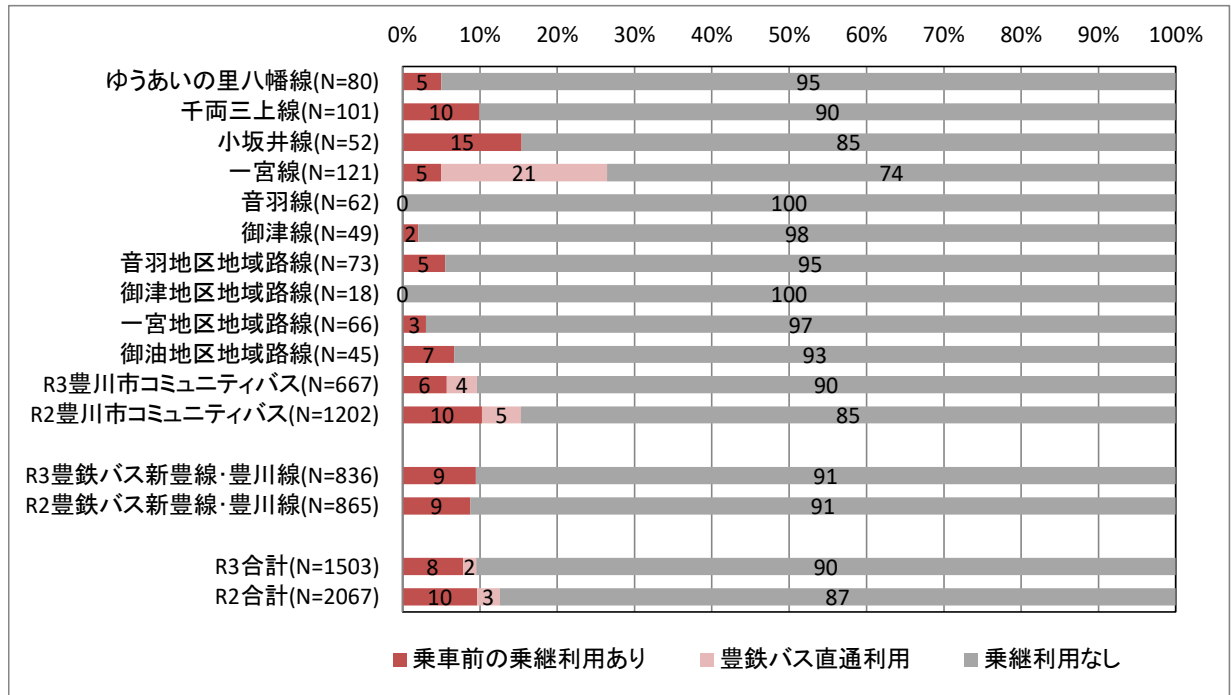
- OD 調査時のバス停別の乗降数・主要なバス停間移動量



2-4. 乗継ぎの状況

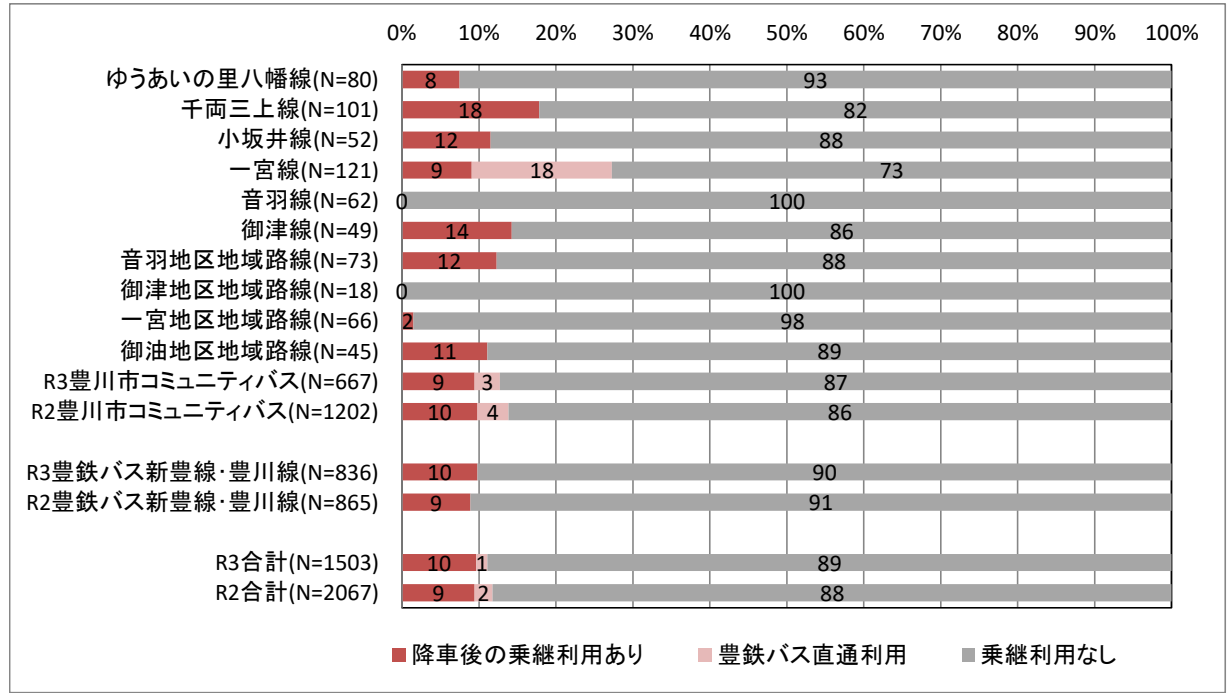
(1) 乗車前の乗継割合

乗車前に乗継いだ利用者は全体では8%(R2年度調査時:10%)という結果となっています。乗車前に乗継いで利用する割合が10%を超える路線は、小坂井線、千両三上線の順で多くなっています。



(2) 降車後の乗継割合

降車後に乗継ぐ利用者は全体の10%(R2年度調査時:9%)という結果となっています。降車後に乗継いで利用する割合が10%を超える路線は、千両三上線、御津線、小坂井線と音羽地区地域路線の順で多くなっています。



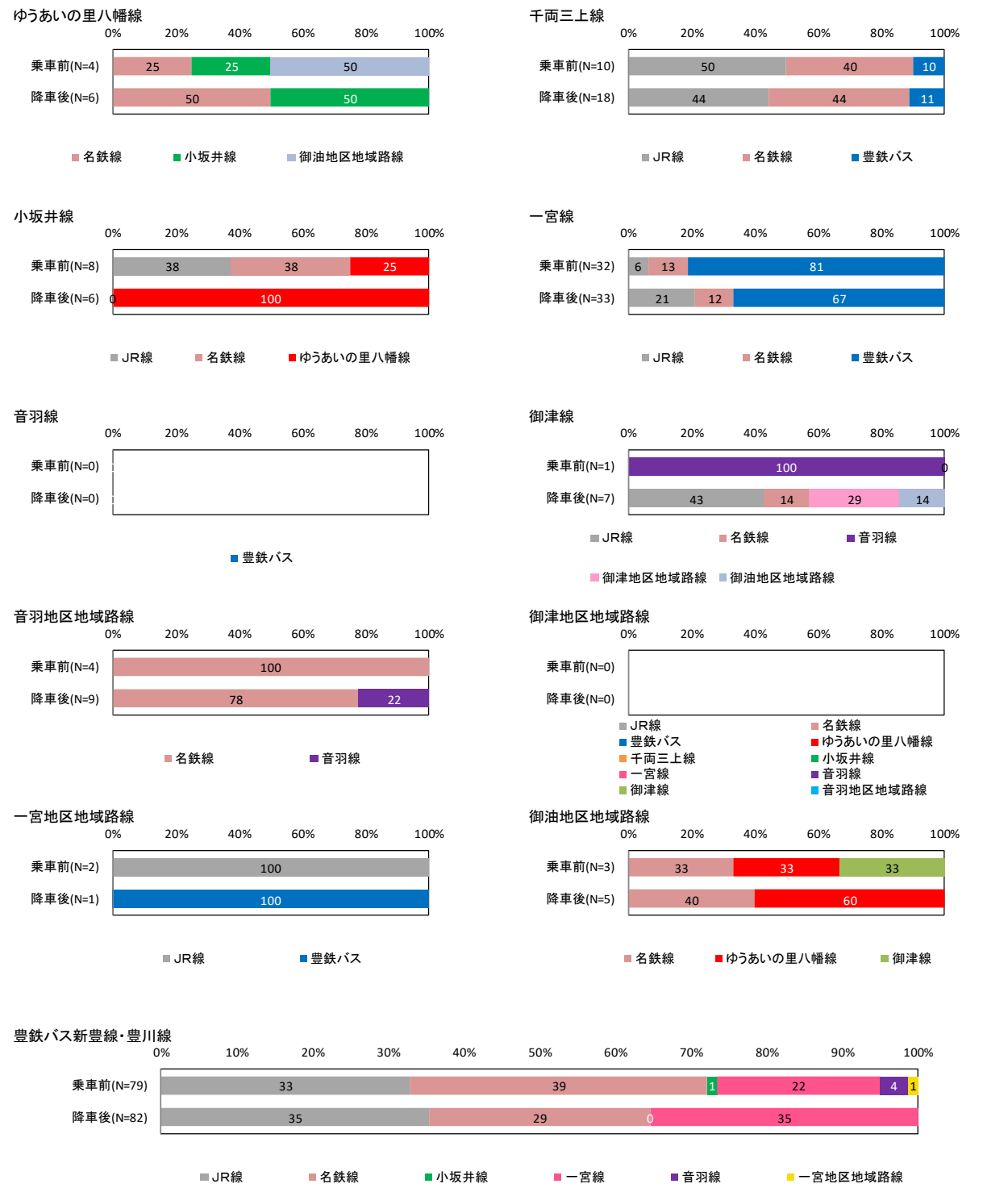
豊鉄バス新豊線・豊川線では、豊川市外(豊橋市内・新城市内)での鉄道乗継は、乗継利用として集計せず、豊川市内での乗継ぎのみを集計

(3) 各路線別の乗継状況

鉄道と接続している路線では、JR線、名鉄線との乗継割合の多さが目立っています。

豊川市コミュニティバス相互の乗継ぎでは、ゆうあいの里八幡線と小坂井線及び御油地区地域路線、御津線と音羽線及び御津地区地域路線等で割合の多さが目立っています。

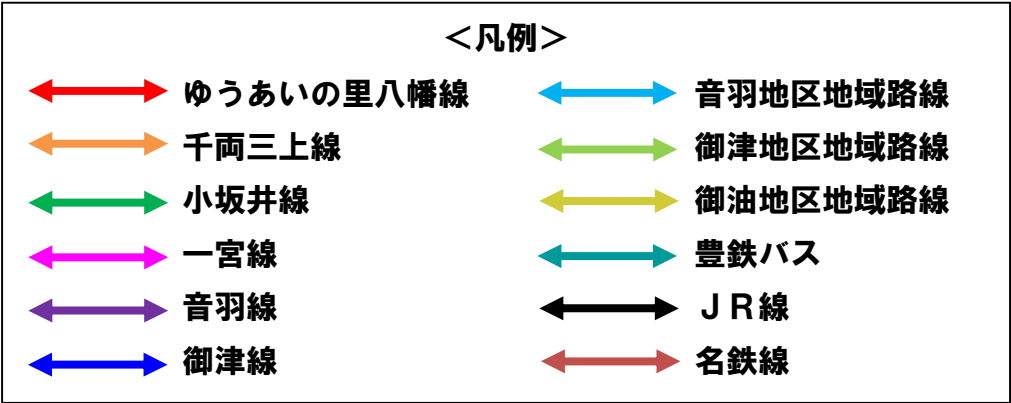
豊川市コミュニティバスと豊鉄バスの乗継ぎでは、直通運行の一宮線を除く基幹路線の乗継割合が前年度調査時よりも減少しています。(R2年度調査時:乗車前・降車後約1割)



(4) 主な乗継状況

バス同士の乗継利用は、国府駅バス停における豊川市コミュニティバス同士と、豊川市民病院バス停におけるゆうあいの里八幡線と小坂井線で多くなっています。

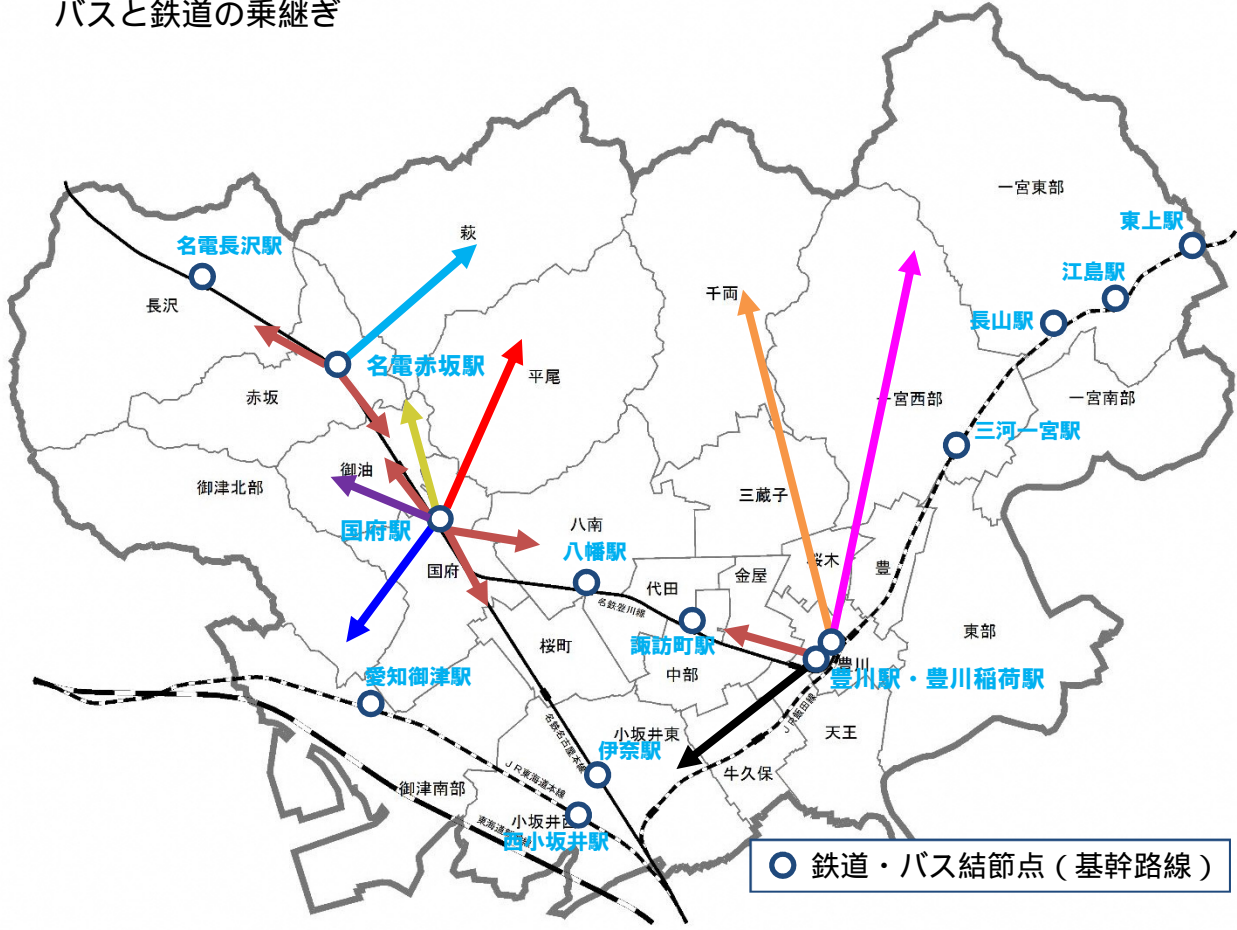
バスと鉄道との乗継利用は、豊川駅・豊川稲荷駅における千両三上線・一宮線とＪＲ線・名鉄線、名電赤坂駅における音羽地区地域路線と名鉄線が多くなっていますが、名鉄豊川線の運行本数がダイヤ改正に伴い減少したことなどにより、全般的に名鉄線との乗継利用は大幅に減少しています。



バス同士の乗継ぎ



バスと鉄道の乗継ぎ



音羽地区の乗継状況		人数 調査期間計	
		R2	R3
音羽地区地域路線	名鉄線 (名電赤坂駅)	21	10
音羽地区地域路線	音羽線 (音羽支所)	9	1

国府駅の乗継状況		人数 調査期間計	
		R2	R3
ゆうあいの里八幡線	御油地区地域路線	-	6
御油地区地域路線	名鉄線	1	3
豊川市コミュニティバス	豊川市コミュニティバス	8	11
豊川市コミュニティバス	名鉄線	12	5

豊川市民病院の乗継状況		人数 調査期間計	
		R2	R3
ゆうあいの里八幡線	小坂井線	-	11
豊川市コミュニティバス	豊鉄バス	10	4
豊川市コミュニティバス	名鉄線	0	2

豊川駅・豊川稲荷駅の乗継状況		人数 調査期間計	
		R2	R3
千両三上線	ＪＲ線	11	13
千両三上線	名鉄線	5	11
千両三上線	豊鉄バス	7	2
一宮線	ＪＲ線	9	9
一宮線	名鉄線	39	8

R2 は木曜～土曜の3日間の合計数

令和3年10月30日 名鉄豊川線ダイヤ改正... 11～14時台 1時間4本 → 1時間2本

3. 【協議事項（１）】令和４年度実施の事業と予算（案）

3－１．令和４年度の事業概要及びスケジュール

令和５年春に予定されているイオンモール出店に伴い、バスの運行計画を見直します。また、公共交通の利用促進策を継続して実施します。

（１）イオンモール出店に伴うバスの運行計画見直し検討・実施

イオンモール出店に伴い、バス路線のイオンモールへの延伸やダイヤの見直しを検討・実施します。

（別紙参照）イオンモール出店予定地の地元説明に使用した資料

（２）バス利用実態調査（OD調査）

令和３年１０月の運行計画見直し後のデータ取得を目的として、基幹路線６路線、地域路線４路線、豊鉄バス新豊線・豊川線のバス利用実態調査（OD調査）を実施します。

（３）公共交通の利用促進策実施

バスの利用促進施策の実施

「豊川市コミュニティバス乗り方教室」、「夏休み路線バス探検キャラバン」、「夏休み小学生５０円バス（未定）」を継続実施し、バスの利用促進を図ります。

新たな料金支払方式の検討

バス利用割引パスポート（継続利用者のバス料金割引パスポート）や電子決済の導入を検討します。

バス停増設の検討

フリー乗降の導入が難しいため、代わりにバス停の増設を検討します。

（４）生活交通確保維持改善計画の作成及び事業評価の実施

地域公共交通確保維持改善事業費補助金（国補助金）を活用するために、生活交通確保維持計画を作成し、事業評価を実施します。

（５）新規移動手段の導入検討

令和元年度に実施したデマンドタクシー実証実験の結果を踏まえ、再度デマンドタクシー実証実験の実施を検討します。

令和４年度の各事業スケジュールのイメージ

作業項目	令和4年										令和5年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1) イオンモール出店に伴う運行計画の見直し・検討													
① 運行計画変更(案)ダイヤ、ルート検討													
② 運行計画変更(案)の周知・広報													
(2) バス利用実態調査(OD調査)				調査方法検討・準備				結果集計					
				調査実施: 令和4年10月頃									
(3) 公共交通の利用促進策実施													
① バスの利用促進施策の実施		調整・準備		実施									
② 新たな料金支払方式の検討													
③ バス停増設の検討													
(4) 生活交通確保維持改善計画の作成及び事業評価の実施	計画書作成									事業評価			
(5) 新規移動手段の導入検討													
地域公共交通会議(4回予定)			○			○			○			◎	

：書面会議（予定）

3－2．令和4年度予算案

令和4年度豊川市地域公共交通会議歳入歳出予算書(案)

1.歳入

単位：千円

科 目	令和4年度予算額	令和3年度予算額	(-) 比較増減	備 考
1負担金及び補助金	2,947	6,915	-3,968	
1負担金	2,947	5,084	-2,137	豊川市から
2補助金	0	1,831	-1,831	令和2年度実施分(計画策定事業)
2繰越金	1	1,121	-1,120	
1繰越金	1	1,121	-1,120	令和2年度交通会議余剰金
3雑入	1	1	0	
1雑入	1	1	0	預金利子等
合 計	2,949	8,037	-5,088	

2.歳出

単位：千円

科 目	令和4年度予算額	令和3年度予算額	(-) 比較増減	備 考
1事業費	180	188	-8	
1負担金	180	188	-8	東三河地域公共交通活性化協議会負担金
2需用費	1,547	3,476	-1,929	
1消耗品費	540	696	-156	事務用消耗品費
2印刷製本費	1,007	2,780	-1,773	ポケット時刻表 バスマップ
3役務費	20	20	0	
1手数料	20	20	0	振込手数料
4委託費	1,200	1,400	-200	
1委託料	1,200	1,400	-200	路線バス探検キャラバン(1日実施) バスの乗り方教室 運行系統図
5雑費	1	2,952	-2,951	
1繰出金	1	2,952	-2,951	市へ返戻 (令和2年度実施分(計画策定事業)の 補助金と令和2年度交通会議余剰金の 合計額)
6予備費	1	1	0	
1予備費	1	1	0	
合 計	2,949	8,037	-5,088	

各科目間の予算は、相互に流用できるものとする。

3－3．令和4年度豊川市歳出予算書抄本(案)

【参考】

令和4年度豊川市歳出予算書抄本

(単位：千円)

事業3	節	説明	金額
バス路線運行 対策費補助金	負担金、補助 及び交付金	・豊鉄バス(新豊線・豊川線)	39,235
公共交通機関等 利用促進事業費	委託料	・豊川市地域公共交通運行計画作成等業務 ・標準的なバス情報フォーマット更新	9,590 1,925
	負担金、補助 及び交付金	・コミュニティバス(基幹路線・地域路線)	110,782

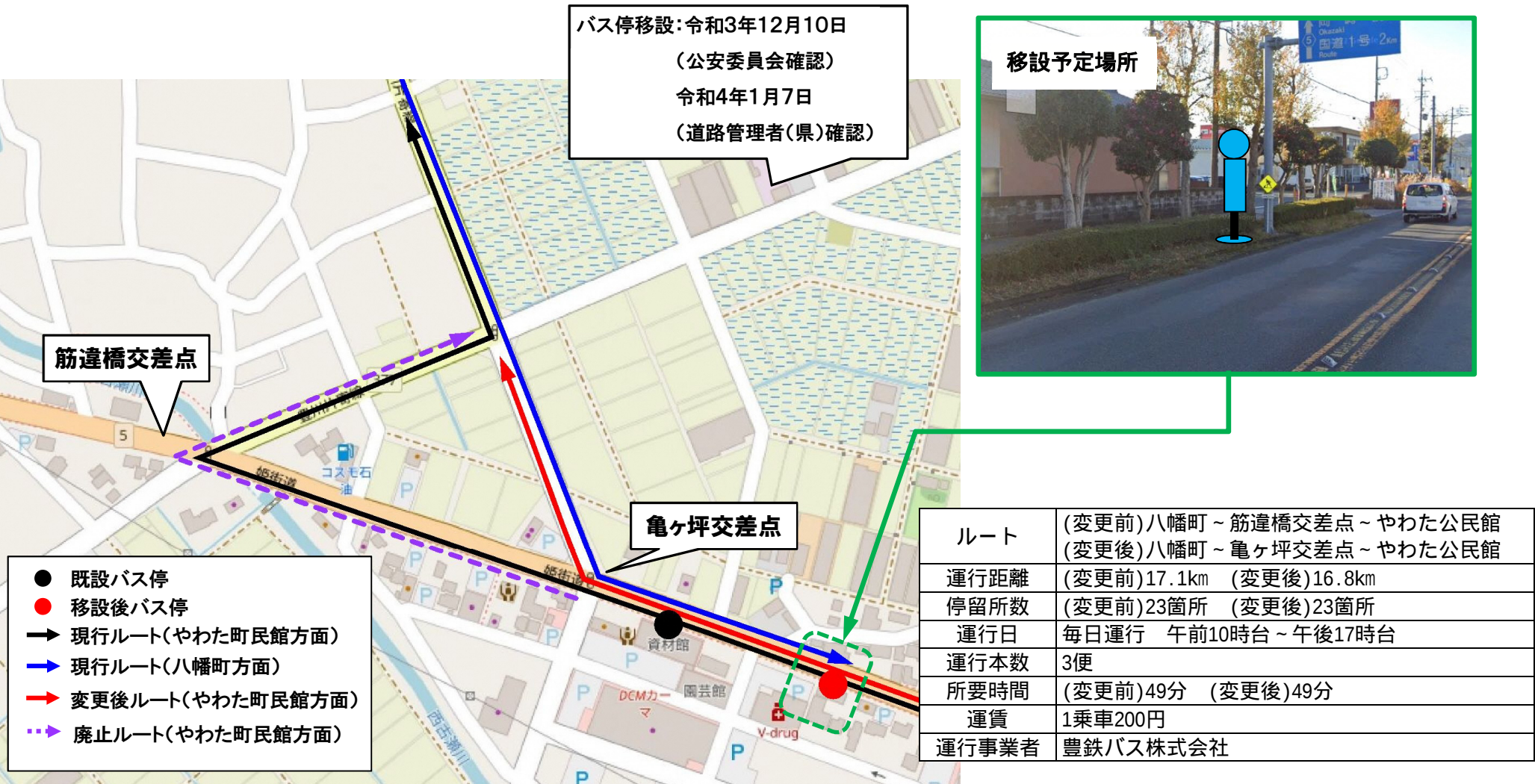
4. 【協議事項（2）】豊川市コミュニティバスの運行計画の変更

4-1. ゆうあいの里八幡線の「横道バス停」移設及びルート変更

現在のゆうあいの里八幡線右回りの「横道バス停」付近のルートは、下図のとおり「横道バス停」から亀ヶ坪交差点までの距離が短く右折が困難であることから、筋違橋を右折するルートを行っていますが、「横道バス停（国府駅方面）」を東側へ移設し、ダイヤの遅延を防ぐなど効率的な運行を図るため、左回りと同様に亀ヶ坪交差点を経由するルートに変更します。

なお、変更に伴い、運行距離は短縮されますがダイヤに変更はありません。

ルートの変更は令和4年6月1日を予定しています。



横道バス停位置及びルート図